

取扱説明書



AHD ハイブリッドレコーダー HR-104

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は、保証書付ですので大切に保管し、必要などきにお読みください。

製品を、安全に正しくお使い頂くため本書をよくお読みになり十分にご理解の上使用して下さい。

はじめに

安全上のご注意	4
必ずお読みください	6
修理について	9
パッケージ内容の確認	11
各部名称	12

設置

カメラからの配線	14
モニターへの配線	15
マウス・電源の接続	16
外部センサー入力配線	17
アラーム（接点）出力	18
R S485 配線	19
電源を入れる	20
スタートアップウィザード	21
電源を切る	26

基本操作

本機の操作方法	28
ライブ画面の見かた	28
LED表示について	30
1画面 / 4分割表示切替	31
音声CHの選択	32
音量の調節	33
巡回監視	34
メニュー画面を表示する	35
メニュー画面の操作	36

記録

録画（動画）	
記録の種類と方法	38
録画設定	40
録画スケジュール	42
メインストリーム	44
サブストリーム	47
録画できる日数	50
おすすめの録画設定	51

静止画撮影

静止画設定	52
撮影スケジュール	54
上書き設定	56
HDD フォーマット	57

再生

再生の種類と方法	59
カレンダー指定	60
カレンダー指定画面	62
イベント指定	64
イベント指定画面	67
簡易再生	70
簡易再生画面	71
再生画面の操作	72
静止画再生	74
静止画再生画面	77
静止画再生の操作	79

バックアップ

バックアップの種類	80
再生保存	81
ファイル指定保存	84
検索一括保存	87

設定

モニター設定	90
映像出力	92
プライバシー	94
ネットワーク	96
DDNS	98
RTSP	100
FTP	100
動体検知	101
外部センサー	104
PTZ	107
クラウド	109
全般	110
夏時間	112
NTP	113
ユーザー	115
マニュアルロック	116
システム情報	117
チャンネル情報	117
録画情報	118
ログ	118
保守	119
イベント	121

リモートアクセス

リモート接続について	123
ローカル接続	125
グローバル接続	128
リモートログイン	131
リモート接続画面	132

仕様

製品仕様	136
外形寸法図	137

Q&A

トラブルシューティング	138
-------------	-----



Alter⁺

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

Q&A

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■絵表示についてこの「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左の例は感電注意)

 禁止の行為であることを告げるものです。(左の例は分解禁止)

 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

❗ 免責事項

- 本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。

警告

 水などがかからないようにしてください
■本製品の上に(花瓶・植木鉢・コップ)や水などの入った容器または金属物をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

 分解・改造しないでください
■本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。

	<p>異常状態で使用しないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> ■発熱していたり煙がでている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止して下さい。煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。
	<p>この機器の取扱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。 ■本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。 ■濡れた手で本製品に触れないで下さい。感電の原因となります。
	<p>異物が入った時は</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本製品を濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ■異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプターを抜いて、販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	<p>落としたり、破損したときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡下さい。

⚠ 注意

	<p>設置場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。 ■湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ■炎天下の車中等に放置しないで下さい。製品が加熱・変形・溶解することがあります。
	<p>この機器の取扱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 ■ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	<p>ご使用にならないときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。
	<p>本機の上に重い物を置かないで下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ■重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等でけがの原因となることがあります。

必ずお読みください

お客様が本製品をご使用する際に必要な情報、注意点を記載しております。ご使用前に内容をよくお読みになり製品の特性や最適な設置環境等をご理解いただいた上でご利用下さい。

設置環境について

本機の動作温度範囲は -10 ~ +55°C です。防水保護は付いておりません。設置の際は水に濡れない場所、ホコリ、振動の少ない場所へ設置してください。屋外に設置を行う場合はキャビネットなどに収納し屋内と同じ環境下になるように設置してください。

内蔵ハードディスクについて

本機の記録媒体はハードディスクを利用しております。ハードディスクは、ホコリ・振動・衝撃・磁気・高温に弱いため下記の環境下ではご使用をお避けください。

また、大切なデータを失わないよう、下記の点にもご注意ください。

- ・本機に振動、衝撃を与えない。
- ・振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ・ビデオやアンプなど熱を持つ可能性のある機器の上に置かない。
- ・動作温度範囲を超える環境や急減な温度変化のある場所では使用しない。
- ・電源を入れたまま本機を動かさない。

大切なデータを失わないために

万が一ハードディスクが故障した場合、データの復旧は出来ません。一般的にハードディスクは消耗品として位置づけがされており、長期間の保存先としては十分な媒体ではありません。必要なデータ（証拠映像など）は他の記録媒体にもバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。

記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保障、それに付随するあらゆる損害について、当社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。またいかなる場合においても当社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

また修理等で交換させて頂いたハードディスク内の情報は第三者に漏洩することがないように厳重に処理をさせていただきます。

シャットダウン (電源 OFF) について

本機の電源を切るときは、メニュー画面よりシャットダウン操作を行う必要があります。シャットダウン操作を行わずに直接電源を切ると不具合が起きる可能性がありますので必ずメニュー画面より実施してください。

また、ハードディスクに負荷がかかるため本機の電源は頻繁に入 / 切しないでください。

時計機能 (内蔵クロック・NTP 時刻同期機能) について

本機の時計表示は内蔵クロックでカウントしております。

内蔵クロックは月差で約 1 分程度の誤差が発生します。

防犯上の録画は時刻表示が重要になる場合がありますので、定期的に時刻をご確認の上、正しい時刻に補正して頂くことをお願い致します。

また、本機をインターネットに接続することで定期的に NTP サーバーと同期し時刻補正する NTP 時刻同期機能も搭載されております。設置場所にインターネット環境がある場合は NTP 時刻同期機能を利用されることをおすすめ致します。

動体検知機能 (モーション検知) について

本機の「動体検知機能」は、接続されたカメラの映像を画像処理することによって行われます。

そのため、接続されるカメラの映像 (ノイズやフリッカー、頻繁な色調変化など) に乱れがある場合、誤作動を起こしたり使用者の思い通りに動作させることが難しい場合があります。特に以下のような場合、動作が不安定になります。

- ・背景と被写体 (動体) の色が近い場合
- ・夜間撮影時、ノイズが多く発生する
- ・被写体の動きが遅い
- ・画面上の被写体が小さく表示されている場合
- ・車のライトや日光など光源が時折が差し込む場合
- ・蛍光灯がチカチカしている場合 (フリッカー)
- ・カメラに対して前後の動きをする被写体

動体検出を行う際は、あらかじめカメラの設置状況と被写体の動きを想定し被写体の動きに沿った設定を行ってください。

また、昼と夜では検知感度に差が出ますので昼と夜両方の環境で動作を確認していただくことをお勧めいたします。

修理について

弊社の製品には、標準保証として【1年間の無償センドバック保証】が付属しています。また、すでに保証期間が終了してしまっている製品についても有償にて修理を承ることが可能です。

修理サービスをご希望のお客様は下記の事項を予めご確認・ご理解の上、修理をご依頼いただきますようお願いいたします。

センドバック保証とは？

ご購入いただいた製品に不具合（故障など）が発生した場合、製品を弊社へご返送いただき修理を行うサービスのことです。

弊社では出張・訪問での修理サービスは行なっておりませんので予めご了承ください。

お客様自身で設置を行っていない場合

設置業者にご依頼された場合など、お客様自身で機器の取外しが困難な場合は、設置された業者の方（設置した方）へ修理・取外しをご依頼ください。

その際の取り外しの方法等については設置業者の方とご相談ください。

また、機器の取り外し、再設置に関わる費用について当社では負担致しかねますのであらかじめご了承ください。

修理期間

修理期間は、弊社到着後7日間～14日間程度とお考えください。故障状況によっては、更に修理期間が長くなる場合がございますのでご了承ください。修理期間が長くかかる場合には、弊社よりご連絡いたします。

梱包について

修理品と一緒に、付属品及び保証書を同封してお送りください。

尚、輸送中の破損を防止するため、なるべくご購入時の箱や梱包材をご利用の上、梱包して発送してください。輸送時の製品破損については、弊社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

修理費用について

- 保証期間内 -

弊社の保証契約約款に基づいて無償にて修理対応いたします。

但し、保証書の原本が添付されていない場合は、有償になりますので必ず修理品と一緒にご送付ください。また、人為的ミスによる故障、改造や分解の形跡がみられる物に関しては、理由に関わらず有償修理とさせていただきます。

保証書の原本に保証期限の記載がない場合は、購入日がわかるレシートまたは領収書を一緒に添付してご送付ください。

- 保証期間外または保証対象外の場合 (有償修理)-

保証期間を経過した場合や、人為的ミスによる故障、改造や分解の形跡がみられる物に関しては、理由に関わらず有償修理とさせていただきます。

有償修理になる場合には必ず見積り金額をご案内させていただきます。(修理見積りは無料) 見積り金額に同意いただいた上で、修理作業を進行いたします。

修理品の発送費はお客様負担となります。

ハードディスク交換時の取扱い

修理点検の際、不具合確認・改善のためにハードディスク内のデータを確認させて頂く場合があります。また必要に応じお客様にご了承を頂いた上でデータのバックアップを取らせていただく場合がございます。修理の際にハードディスクの交換・初期化が必要な場合は当社の判断で初期化を行わせて頂く場合がございます。初期化の際はハードディスクに記録された内容は全て失われますのでご了承ください。

また修理等で交換させて頂いたハードディスク内の情報は第三者に漏洩することがないように厳重に処理をさせていただきます。

パッケージ内容の確認

製品のパッケージを開封されますと、下記の物が入っております。
ご使用前にご確認下さい。

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. HR-104 本体 | × 1 |
| 2. AC アダプター | × 1 |
| 3. USB マウス | × 1 |
| 4. 取扱説明書 (本書) | × 1 |
| 5. クイックスタートガイド | × 1 |
| 6. 保証書 (クイックスタートガイド裏面) | |

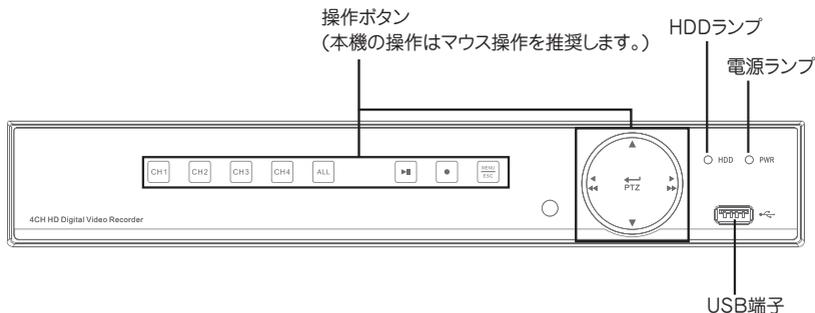
※付属品の外観や仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。

各部名称

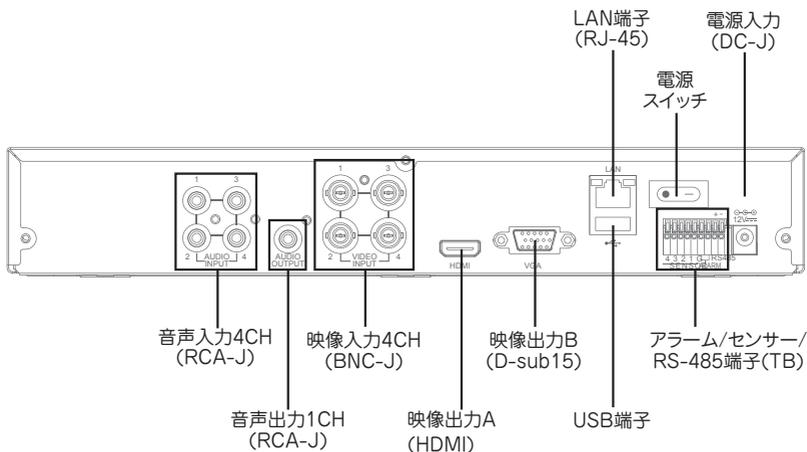
製品の各部名称は以下のようになります。

本書では操作説明時の名称等で以下の名称が使用されております。

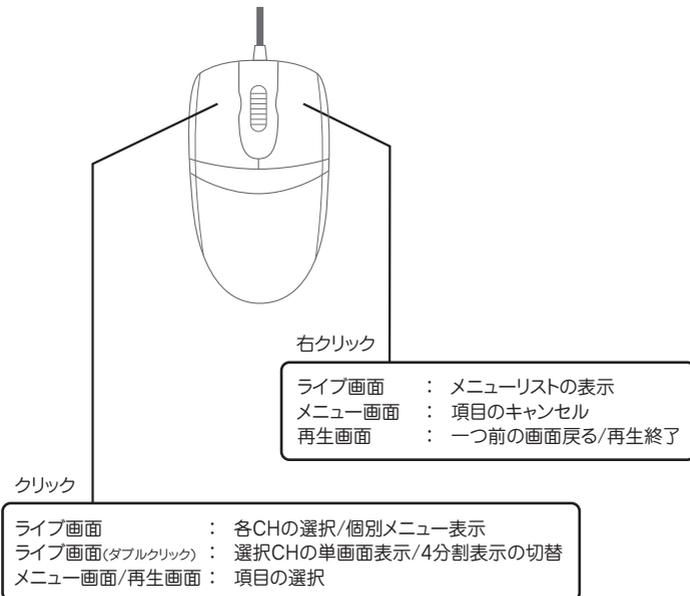
本体正面



本体背面パネル



マウス ※本機ではマウス操作が基本となります。



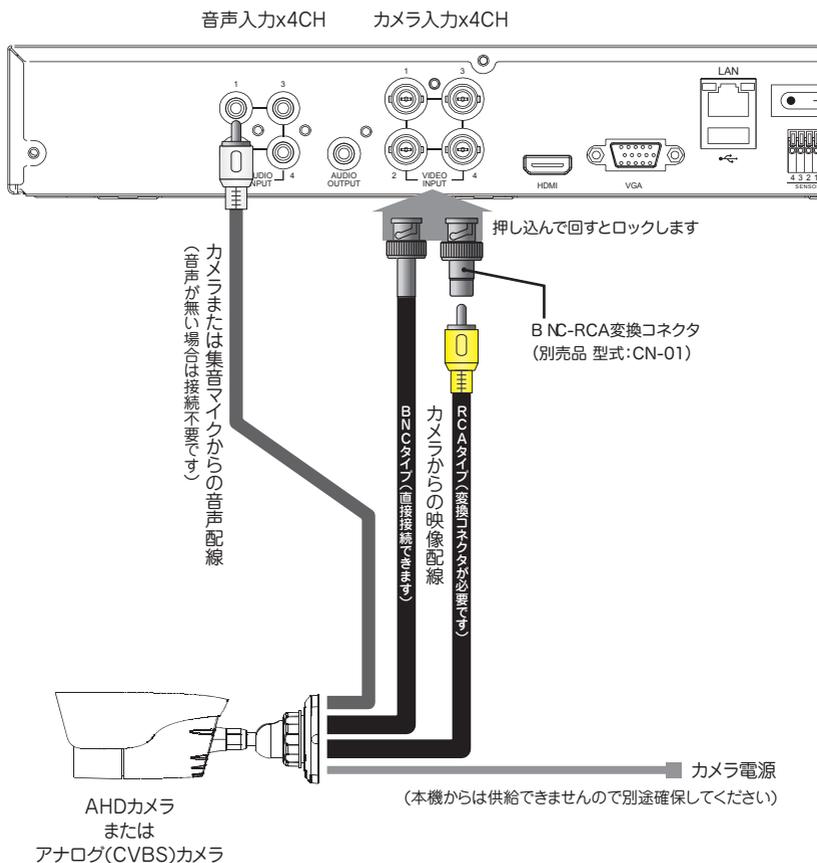
カメラからの配線

下記の図を参考にカメラと本機を接続してください。(最大 4CH)

接続完了後、本機とモニターの接続を行なってください。

※本機からカメラへの電源供給はできませんのでご注意ください。

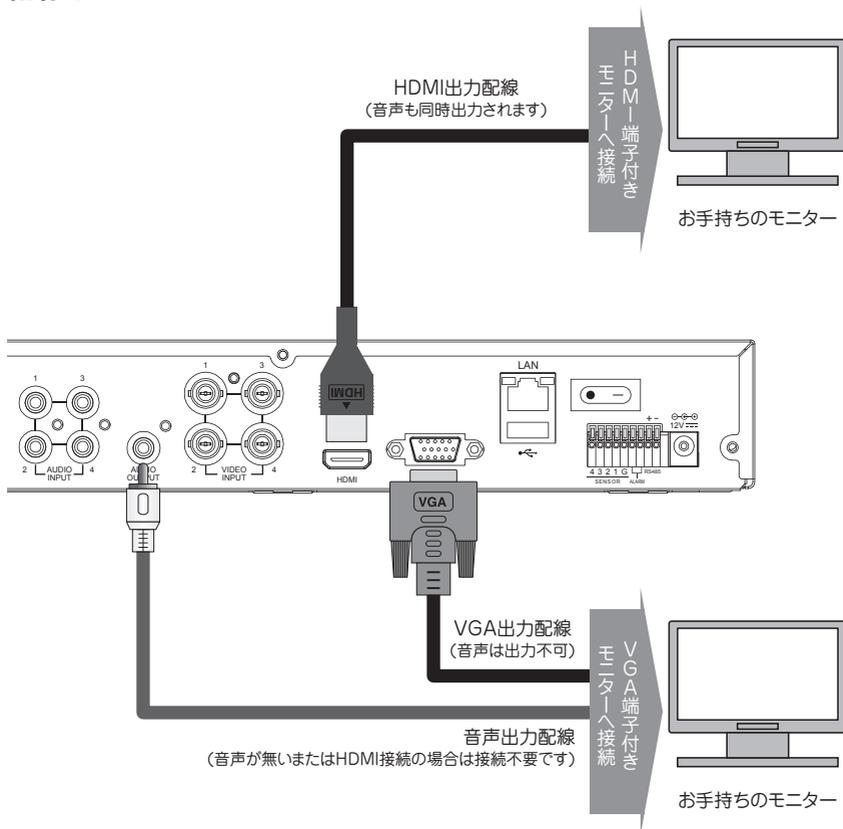
配線イメージ



モニターへの配線

本機の映像出力は「映像出力 A(HDMI)」と「映像出力 B(VGA)」の2系統があります。下記の図を参考にご利用になれるお手持ちのモニターと本機を接続してください。※本製品にはケーブルは付属しておりませんので市販品をご用意ください。

配線イメージ



ワンポイントアドバイス!

本機の映像出力は2台のモニターへ同時に出力することが可能です。

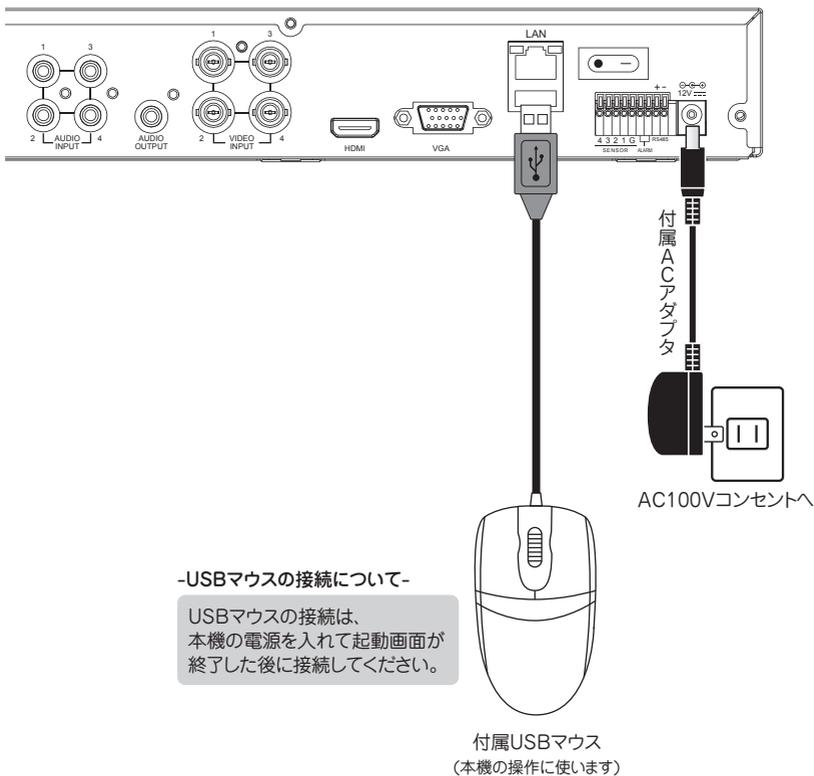
※2台のモニターへは同じ解像度で出力されます。

マウス・電源の接続

カメラと本機、本機とモニターの接続が完了したら下記の図を参考に付属の「AC アダプタ」を接続してください。

「USB マウス」は本機の電源を入れ起動画面が終了した後に接続してください。

配線イメージ



ワンポイントアドバイス!

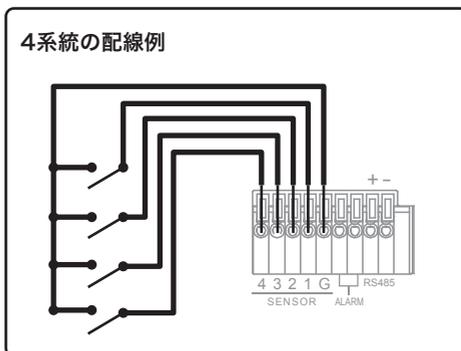
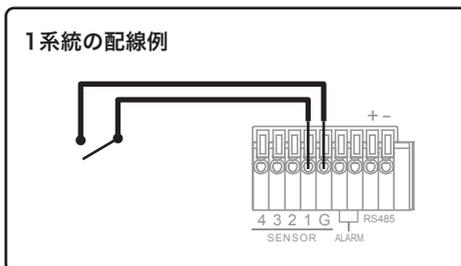
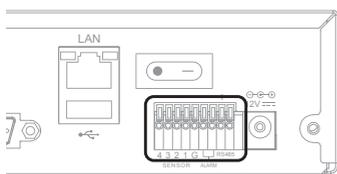
電源投入前に USB マウスを接続した場合、マウスが認識されません。

本機起動後にマウスのポインタが表示されない場合、USB ポートにマウスを差し直してみてください。

外部センサー入力配線

本機はリレー形式の外部センサー (N.O/N.C) からの入力を受けて録画や警報出力を行うことができます。外部センサーを接続する場合は、下記の図の様に配線します。

配線イメージ

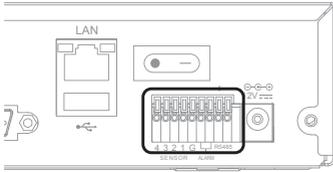


ワンポイントアドバイス!

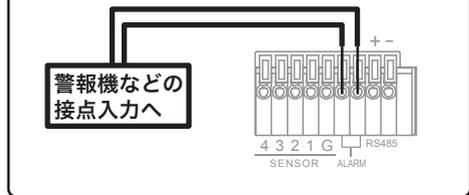
センサーの入力形式 (N.O / N.C) は「メニュー画面」より設定が可能です。
お使いのセンサー形式に合わせて設定してください。

アラーム（接点）出力

本機でモーション検知した場合、外部センサーの入力があった場合に外部の警報機等へ接点信号を出力することができます。アラーム出力配線は下記の図の様に配線します。

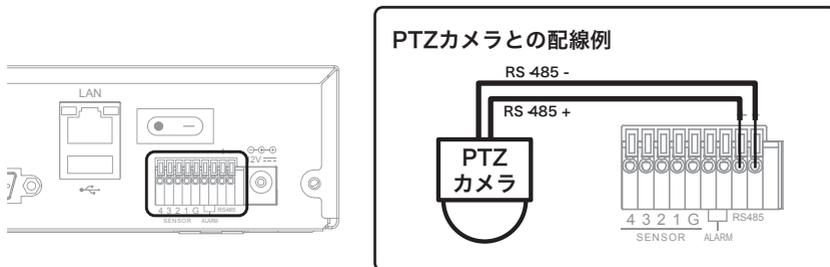


アラーム出力の配線例



RS-485配線

PTZカメラをご利用の場合、本機にRS-485配線をすることでカメラの旋回、ズームが行えます。



ワンポイントアドバイス!

本機で操作できる内容は、カメラの旋回操作、ズーム、フォーカス調整、アイリス調整のみとなります。

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

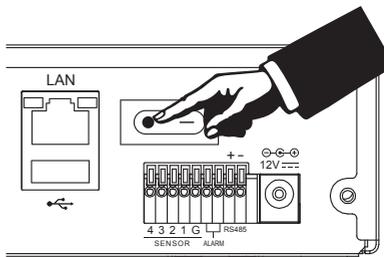
仕様

Q & A

電源を入れる

配線が終わったら本機背面の電源スイッチを入れてください。電源が入ると本機が起動して「起動画面」が表示されます。起動すると、「スタートアップウィザード」が表示されます。

1. 本体背面のスイッチを入れます。



2. 起動画面が表示されます。



3. 起動すると「スタートアップウィザード (初期設定画面)」が表示されたら付属の「USB マウス」を接続して操作を行います。

「スタートアップウィザード」の設定方法は → 21 ページの「スタートアップウィザード」をご覧ください。



ワンポイントアドバイス!

モニターに映像が表示されない、起動画面のみ表示されたあと映像が出ない場合はモニター側で自動認識に失敗している可能性があります。その場合、モニターとの配線を一度外してから電源を入れ直し 30 秒ほど経ってから再度配線をしてみてください。

スタートアップウィザード（初期設定）

初めてお使いになる場合「スタートアップウィザード」を設定することで本機の基本的な設定が完了します。設定は付属の「USB マウス」を操作して行います。また設定した項目は、いつでも好きな時にメニュー画面より変更が行えます。

マウス操作

右クリック	ライブ画面	: メニューリストの表示
	メニュー画面	: 項目のキャンセル
	再生画面	: 一つ前の画面に戻る/再生終了
クリック	ライブ画面	: 各CHの選択/個別メニュー表示
	ライブ画面(ダブルクリック)	: 選択CHの単画面表示/4分割表示の切替
	メニュー画面/再生画面	: 項目の選択

1. スタートアップウィザード開始

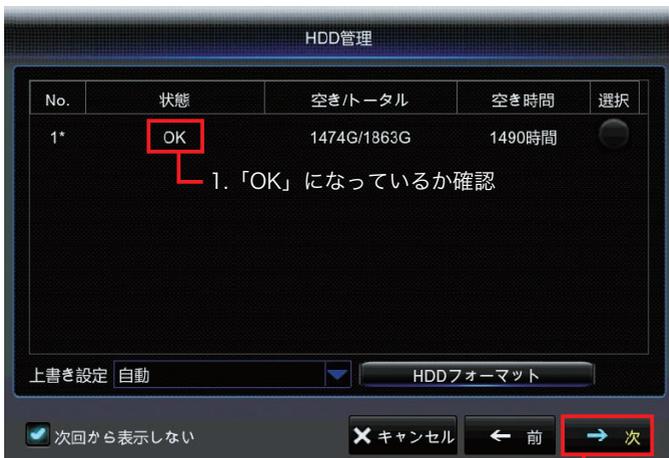


1. チェックを入れる

2. クリック

付属の USB マウスを接続し、画面左下の「次回から表示しない」をクリックしてチェックを入れ「→次」をクリックします。

2. ハードディスクの確認



2. クリック

状態が「OK」になっているのを確認して「→次」をクリックします。
 (工場出荷時にハードディスクはすでにフォーマットされています。)

3. ネットワーク設定（この設定は後からでも変更可能です）



ネットワーク
 接続する場合
 のみ設定を行
 なってくださ
 い。

設定したらクリック

ネットワーク接続を行わない方は何も設定せずに「→次」をクリックしてください。
 ネットワークに接続してご利用なる方はご利用になるネットワークの設定を行ってくだ
 さい。(各項目の設定値はご利用場所のネットワーク管理者の方にご確認ください。)

4. 録画スケジュール（この設定は後からでも変更可能です）



初期設定では 24 時間の常時録画が設定されています。

録画スケジュールを変更する場合は、「チャンネル」でカメラの CH を選択し「録画の種類」をクリックしてから「スケジュールエリア」をクリックまたはドラッグすると選択した時間帯に録画が設定されます。設定が終わったら「→次」をクリックしてください。

工場出荷時の録画設定 ※設定変更は「メインメニュー」より行えます。

録画種類	=	常時録画 (24 時間)	
上書き録画	=	する	
解像度	=	AHD : 1920x1080	CVBS : 960x480
フレームレート	=	AHD : 10FPS	CVBS : 30FPS
ビットレート	=	AHD : CBR 1024Kbps	CVBS : CBR 2048Kbps

ワンポイントアドバイス!

本機では「常時録画」とその他の録画（動体検知録画など）を併用することができます。動体検知録画を設定する場合でも、「スケジュール録画（緑）」の設定を残しておくのを万が一うまく動体検知しなかった場合でも常時録画によって録画データを残しておくことができます。

5. システム設定（この設定は後からでも変更可能です）



必要な設定を行なってください。

設定したらクリック

主に日付や時刻に関する設定が可能です。

現在の日時を確認し、合っていない場合は各項目をクリックして設定を行ってください。設定が終わったら「保存」をクリックしてください。

設定項目の詳細

- 日付 : 現在の日付
- 時刻 : 現在の時刻
- 日付表示形式 : 日付の表示順序 (YY=年 - MM=月 - DD=日)
- 時刻表示形式 : 12 時間 /24 時間表示を選択できます。
- 言語 : メニュー画面等に表示される言語 (日本語でご利用ください)
- ビデオ形式 : 「NTSC」のまま変更しないでください。
- メニュータイムアウト : メニュー画面の自動終了するまでの時間
- モード : 「DVR」モードでお使いください。
IP カメラを接続する場合「XVR」モードを選択してください。
※ 「XVR」モードはサポート対象外となります。

6. 設定完了



「ウィザード完了」の表示が出たら設定は完了です。
 「OK」をクリックすると設定画面が終了します。

電源を切る

本機の電源を切る場合は、メインメニューの「電源を切る」の項目から行ってください。直接電源スイッチを切ってしまうと不具合や故障の原因となりますのでご注意ください。

1. 「ライブ画面」から「メインメニュー」を選択します。



2. 画面右上の「電源を切る」を選択します。



3. 中央に小さなウィンドウが表示されますので左下の「電源を切る」ボタンを選択します。

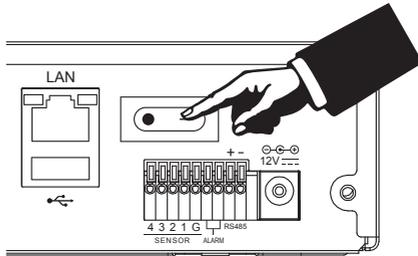
※ユーザー権限やパスワードを設定している場合は、それぞれ入力して操作を行ってください。



4. シャットダウンが開始され、完了すると完了した旨を伝えるメッセージが表示されます。



5. 本体背面の電源スイッチを切ってください。



はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

Q & A

本機の操作方法

本機の操作はマウスを使って行います。

マウスが接続された状態でマウスを上下左右に動かすと「ポインタ (矢印)」が移動しますので設定したい項目へ「ポインタ」を移動させて「クリック」して操作を行います。

マウス操作

右クリック

- ライブ画面 : メニューリストの表示
- メニュー画面 : 項目のキャンセル
- 再生画面 : 一つ前の画面に戻る/再生終了

クリック

- ライブ画面 : 各CHの選択/個別メニュー表示
- ライブ画面(ダブルクリック) : 選択CHの単画面表示/4分割表示の切替
- メニュー画面/再生画面 : 項目の選択

ライブ画面の見かた

カメラのCH番号 各カメラごとに表示されます。

※AHDカメラ接続時はCH番号の前に「A-」が表示されます。

A-CH1 = AHDカメラ **CH1** = アナログ(CVBS)カメラ

現在の日時

サブメニュー(カメラ画面をクリック)
カメラごとに表示されます。

録画ステータス
各カメラごとに表示されます。

メニューリスト
右クリックすると表示されます

録画ステータス詳細

R = 常時録画中(赤)

M = モーション検知(緑)
(録画していません)

I = アラーム検知(緑)
(録画していません)

表示なし = 録画していない

M = モーション録画中(赤)

I = アラーム録画中(赤)

メニューリスト詳細

ライブ画面を右クリックすると画面の中央下部に表示されます。

各項目をマウスでクリックするとそれぞれの動作を行います。



※1 本機に2ユーザー以上を設定している時のみ表示されます

※2 システム情報を表示します。表示は右クリックで消せます。

サブメニュー詳細

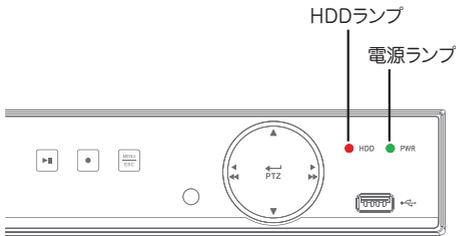
各カメラの映像をマウスでクリックすると各カメラ画面の下部に表示されます。

各項目をマウスでクリックするとそれぞれの動作を行います。



LED 表示について

本体正面に搭載の LED ランプは点灯パターンで本機の状態を表しています。



点灯パターン	消灯	点灯	点滅
電源ランプ	電源オフ	電源オン	-
HDD ランプ	HDD 認識エラー	録画していない (HDD 正常)	録画中 (HDD 正常)

1画面 / 4分割表示切替

カメラの画面を「ダブルクリック」すると「1画面表示」と「4分割表示」を切り替えることができます。

4分割表示



単画面表示したい
カメラ映像を
ダブルクリック



カメラ映像を
ダブルクリック



1画面表示

ワンポイントアドバイス!

単画面表示や巡回監視に切り替えた際、画面を表示していない他のCHも録画スケジュールの内容で録画が行われます。

音声 CH の選択 (分割画面時のみ)

音声マイクを接続して4分割画面表示を行なっている場合、音声出力するカメラの画面を「クリック」することで音声CHを切り替えることができます。

音声出力されているCHには青い枠が表示されます。



ワンポイントアドバイス!

初期設定では録画時の音声記録はオフになっています。

録画時に音声を同時に記録したい場合は、メインメニューの録画設定 > 「メインストリーム (P.44)」より「音声」の項目を選択する必要があります。

音量の調節

ライブ画面で「右クリック」し「メニューリスト」から「音声」をクリックすると「音量バー」が表示され音量を調整できます。

音量は「1(小さい)～100(大きい)」で調整が可能です。



「音量バー」の丸い部分をドラッグして音量の調整ができます

ワンポイントアドバイス!

音が出ない場合や小さい場合、接続先の TV やモニターの音量も確認してみてください。

巡回監視

カメラを2台以上接続している場合、ライブ画面で「右クリック」し「メニューリスト」から「巡回開始」をクリックすると巡回監視を行うことができます。



「巡回開始」をクリックすると巡回を開始
巡回中は「巡回停止」と表示されクリックすると巡回監視を終了します

ワンポイントアドバイス!

初期設定では巡回監視の切り替え間隔は「5秒」に設定されています。

巡回回数の変更はメインメニューのモニター設定 > 「映像出力 (P.92)」より「シーケンス切替時間」の項目で設定できます。

単画面表示や巡回監視に切り替えた際、画面を表示していない他のCHも録画スケジュールの内容で録画が行われます。

メニュー画面を表示する

ライブ画面で「右クリック」し「メニューリスト」から「メインメニュー」をクリックすると「メニュー画面」が表示されます。設定の変更等はこの画面から行います。



「メインメニュー」をクリックするとメニュー画面が表示されます

メニュー画面



ワンポイントアドバイス!

機器の設定を変更する場合、「メニュー画面」を表示する必要があります。

メニュー画面の操作

メニュー画面はマウスを使って操作します。
本機のメニュー設定は以下の操作が基本になります。

マウス操作

クリック
項目の選択

ドラッグ (クリックしたまま移動)
スケジュールや動体検知の一括範囲指定

右クリック
一つ前の画面に戻る
/メニュー画面終了

チャンネル	CH1
チャンネル名	CH1
チャンネル名表示	有効
録画時刻表示	有効
OSD表示位置	設定
カラー設定	設定
ライブ非表示	無効
AHDイコライザ	無効
時刻表示	有効

1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

操作手順

1. それぞれ設定したい項目をクリックして選択します。
 2. 設定が完了したら画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。
画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。
- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
 - 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。
 - 「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

Q & A

記録の種類と方法

本機で残せる記録には動画で記録を残す「録画」と静止画で記録を残す「静止画撮影」の2種類が存在します。

また、それぞれの記録を行う方法として「スケジュール(常時)」「動体検知」「アラーム(外部センサー)」「マニュアル録画(撮影)」の4つの記録方法があります。

初期設定では「録画(動画)」の「スケジュール」が24時間設定されています。設定を追加しそれぞれの録画を同時設定することも可能です。

記録の種類	録画(動画)	静止画撮影
記録方法	連続(スケジュール)	
	動体検知	
	アラーム(外部センサー)	
	マニュアル(手動)	

本機では全ての記録を同時に行うことも可能です。

記録の種類

録画(動画)

カメラの映像を動画で記録する方法です。

本機の記録はこの「録画」を前提としています。

- 録画の基本設定 > 「録画設定(P.40)」
- 画質に関する設定 > 「メインストリーム(P.44)」と「サブストリーム(P.47)」
- 記録方法の設定 > 「録画スケジュール(P.42)」
- スケジュールの設定 > 「録画スケジュール(P.42)」をご参照ください。

静止画撮影

カメラの映像を静止画(JPG)で記録する方法です。あらかじめ撮影間隔(5秒~1時間)を決めて定期的に静止画を残していく機能です。

- 撮影の基本設定 > 「録画設定(P.40)」
- 画質に関する設定 > 「メインストリーム(P.44)」と「サブストリーム(P.47)」
- 撮影方法の設定 > 「撮影スケジュール(P.54)」
- スケジュールの設定 > 「撮影スケジュール(P.54)」をご参照ください。

記録方法

連続録画 / 撮影 (スケジュール)

あらかじめ時間帯を設定し、設定時刻になると自動で記録を開始する方法です。
設定した時間帯は継続して記録されます。
本機ではスケジュールの時間帯を 30 分単位で設定できます。

動体検知録画 / 撮影 (検知時のみ記録)

接続されたカメラ映像を本機の画像処理にて動く物体を探す機能です。
動きを検知したら設定した時間 (30 秒 ~5 分) を記録します。
本機では検知を行いたい時間帯を 30 分単位で設定できます。
また録画設定の「プリレコード」を「有効」に設定することで動体検知を受ける約 10 秒前に遡って記録を残すことができます。

アラーム録画 / 撮影 (外部センサー)

サードパーティ製の外部センサーを組み合わせて記録する機能です。
外部センサーの信号を本機が受けると設定した時間 (30 秒 ~5 分) を記録します。
本機ではアラーム信号を受け付ける時間帯を 30 分単位で設定できます。
また録画設定の「プリレコード」を「有効」に設定することでアラーム信号を受ける約 10 秒前に遡って記録を残すことができます。

マニュアル録画 / 撮影 (手動操作)

ライブ画面からマウス操作で録画を行う方法です。
動画の場合は停止を行うまで録画が継続されます。
(常時録画を行いたい場合はスケジュール録画を設定してください。)
静止画の場合は静止画を一枚記録します。

録画設定

録画についての基本的な設定が行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「録画設定」をクリックすると表示されます。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

操作手順

1. それぞれ設定したい項目をクリックして選択します。
2. 設定が完了したら画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。

画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。

- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
- 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。
- 「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力 1 に対しての設定が行われます。

録画

「チャンネル」で設定したカメラチャンネルに対して録画を行うか選択します。

- 有効 = 録画する
- 無効 = 録画しない

録画ストリーム

「チャンネル」で設定したカメラチャンネルに対しての録画ストリームを選択します。

- メインストリーム = 録画の際、メインストリームの設定で録画 (高画質)
- サブストリーム = 録画の際、サブストリームの設定で録画 (低画質)

※録画の際は「メインストリーム」をご利用をおすすめいたします。

※「メインストリーム」「サブストリーム」の詳細はそれぞれ個別に設定が行えます。

プリレコード

有効にすると「動体検知録画」「アラーム録画」の際、イベント発生前の時間に遡って録画します。

- 有効 = 各検知があった約 10 秒前から録画スタートします
- 無効 = 各検知のタイミングで録画スタートします

※「動体検知録画」「アラーム録画」を行わない場合、設定の必要はありません。

ワンポイントアドバイス!

録画を行う時間は「録画スケジュール (42 ページ)」で設定します。忘れずに設定してください。

録画スケジュール

録画を行うスケジュールを設定できます。

本機では1週間を30分単位で行うことができます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「録画設定」>「録画スケジュール」の順に選択すると表示されます。

1. カメラ CH を選択
2. 録画の種類を選択
3. 録画する時間を選択
「スケジュールエリア」
マウスでドラッグするとドラッグした範囲を一括変更できます。
4. クリックすると設定を保存します。

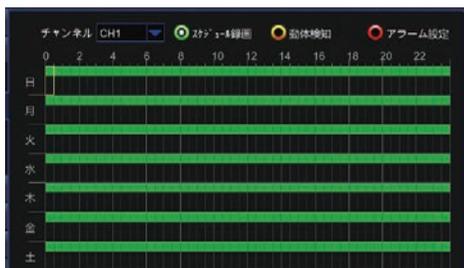
操作手順

1. 「チャンネル」から設定したいカメラチャンネルを選択します。
2. 録画の種類を選択します。(スケジュール / 動体検知 / アラーム)
3. 「スケジュールエリア」に録画する時間を選択します。
クリック(ドラッグ)する度に「録画する(色付)/録画しない(色なし)」が切替ります。
4. 設定が完了したら画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。
画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。

- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
- 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。
- 「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

スケジュール設定例

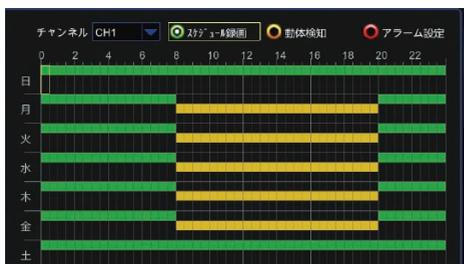
常時録画のみ



常時録画

平日 / 土日ともに 24 時間

常時録画 / 動体検知録画の併用



常時録画

平日 20:00 ~ 翌日 8:00

土日 24 時間

動体検知録画

平日 8:00 ~ 20:00

常時録画 / 動体検知 / アラーム録画の併用



常時録画

平日 / 土日ともに 24 時間

動体検知録画

月～金 6:00 ~ 20:00

アラーム録画

平日 20:00 ~ 翌日 6:00

土日 24 時間

ワンポイントアドバイス!

本機では「スケジュール（常時）録画」とその他の録画（動体検知録画など）や「静止画撮影」併用することができます。動体検知録画を設定する場合でも、「スケジュール録画（緑）」の設定を残しておくとうまく動体検知しなかった場合でも常時録画によって録画データを残しておくことができます。

メインストリーム

映像を記録する際のメインストリームの設定が行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「録画設定」>「メインストリーム」をクリックすると表示されます。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

操作手順

1. それぞれ設定したい項目をクリックして選択します。
2. 設定が完了したら画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。

画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。

- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
- 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。
- 「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力 1 に対しての設定が行われます。

解像度

録画の際のカメラ映像の解像度を選択します。

数値が大きいほど高画質です。

1920x1080 = 200 万画素 1280x720 = 92 万画素 960x480 = 46 万画素

※接続したカメラがアナログカメラ (CVBS) の場合「960x480」のみとなります。

フレーム数

録画の際のカメラ映像の 1 秒あたりのフレーム (コマ) 数を選択します。

数値が大きいほど滑らかな映像を録画します。

(滑らかな映像) 30 ↔ 1 (カクカクした映像)

※動きの早い被写体 (車など) を録画したい場合、フレーム数は高めに設定してください。

ビットレート種類

録画の際のビットレートの種類を選択できます。

CBR (固定) = 録画時のビットレートを常に固定し画質を一定に保ちます。(推奨)

VBR (可変) = 映像の変化に合わせて画質を自動で可変させます。

VBR を選択すると、画質を設定する項目が表示され

6 段階の画質を設定することができます。

※防犯カメラの録画では常に画質を一定に保つ「CBR」がおすすめです。

ビットレートモード

「ユーザー定義」に設定するとビットレートの数値を任意で設定できるようになります。

[次ページへ >](#)

ビットレート (1 秒間あたりのデータサイズ)

録画の際のビットレート (1 秒間あたりのデータサイズ) を選択できます。

数値が大きいほど高画質ですが、録画できる時間が短くなります。

「ビットレートモード」で「ユーザー定義」を指定した場合、ビットレートを自由に指定できます。

音声

音声マイクを使用している場合、チェックマークをつけると録画時に音声も同時に記録します。

※音声を使用していない場合、チェックマークをつけても録音されません。

ワンポイントアドバイス!

メインストリームの設定は「録画」「静止画撮影」の両方で設定が共有されます。

サブストリーム

映像を記録する際のサブストリームの設定が行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「録画設定」>「サブストリーム」をクリックすると表示されます。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

操作手順

1. それぞれ設定したい項目をクリックして選択します。
2. 設定が完了したら画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。
画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。

- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
- 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。
- 「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力1 に対しての設定が行われます。

解像度

サブストリーム録画のカメラ映像の解像度を表示しています。(変更できません)

352x240 = 約 8 万画素

フレーム数

録画の際のカメラ映像の1秒あたりのフレーム(コマ)数を選択します。

数値が大きいほど滑らかな映像を録画します。

(滑らかな映像) 30 ↔ 1(カクカクした映像)

※動きの早い被写体(車など)を録画したい場合、フレーム数は高めに設定してください。

ビットレート種類

録画の際のビットレートの種類を選択できます。

CBR(固定) = 録画時のビットレートを常に固定し画質を一定に保ちます。(推奨)

VBR(可変) = 映像の変化に合わせて画質を自動で可変させます。

VBRを選択すると、画質を設定する項目が表示され

6段階の画質を設定することができます。

※防犯カメラの録画では常に画質を一定に保つ「CBR」がおすすめです。

ビットレートモード

「ユーザー定義」に設定するとビットレートの数値を任意で設定できるようになります。

次ページへ >

ビットレート (1 秒間あたりのデータサイズ)

録画の際のビットレート (1 秒間あたりのデータサイズ) を選択できます。

数値が大きいほど高画質ですが、録画できる時間が短くなります。

「ビットレートモード」で「ユーザー定義」を指定した場合、ビットレートを自由に指定できます。

音声

音声マイクを使用している場合、チェックマークをつけると録画時に音声も同時に記録します。

※音声を使用していない場合、チェックマークをつけても録音されません。

ワンポイントアドバイス!

設定は「録画」「静止画撮影」の両方で設定が共有されます。

サブストリームは低画質用の設定です。

ネットワーク接続等でデータ量に制限がある場合などの使用を前提としています。

映像の記録に関しては基本的に「メインストリーム」をご利用ください。

録画できる日数

本機の録画時間は「ビットレート」の設定で変化します。

「ビットレート」を高く設定すると録画の画質が上がりますが録画時間が短くなります。必要以上にビットレートを高くしてもカメラの映像以上の画質にはなりません。効率よく長時間録画するためには「ビットレート」「解像度」「フレームレート」をバランス良く設定してビットレートを有効に活用する必要があります。「録画日数の目安」と「おすすめの録画設定」の2つの表をご覧ください録画の画質設定にご利用ください。

録画日数の目安

ビットレート	カメラ台数			
	1台	2台	3台	4台
1024Kbps	176日	88日	59日	44日
1280Kbps	141日	70日	47日	35日
1536Kbps	117日	59日	39日	29日
1792Kbps	100日	50日	33日	25日
2048Kbps	88日	44日	29日	22日
3072Kbps	59日	29日	20日	15日
4096Kbps	44日	22日	15日	11日
5120Kbps	35日	18日	12日	9日
6144Kbps	29日	15日	10日	7日
8192Kbps	22日	11日	7日	5日

ワンポイントアドバイス!

カメラを2台以上で利用される場合、各カメラのビットレートを混在させることができます。ビットレートを混在させた場合、録画時間はそれぞれの中間程度の録画時間になります。

おすすめの録画設定

ビットレートを有効に使用して効率よく録画できる録画設定の一例です。
「録画時間の目安」と併せてご覧いただき録画の画質設定にご利用ください。

おすすめの録画設定一覧

解像度	画質	フレーム数			
		5	10	15	30
1920 x 1080	高画質	1792Kbps	3072Kbps	4096Kbps	8192Kbps
	標準	1280Kbps	2048Kbps	3072Kbps	6144Kbps
	時間優先	1024Kbps	1536Kbps	2048Kbps	5120Kbps
1280 x 720	高画質	1536Kbps	1792Kbps	3072Kbps	6144Kbps
	標準	1280Kbps	1536Kbps	2048Kbps	4096Kbps
	時間優先	1024Kbps	1280Kbps	1792Kbps	3072Kbps
960 x 480	高画質	384Kbps	768Kbps	1024Kbps	2048Kbps
	標準	256Kbps	512Kbps	768Kbps	1536Kbps
	時間優先	192Kbps	384Kbps	512Kbps	1024Kbps

ワンポイントアドバイス!

解像度：1920x1080 / 画質：標準 / フレーム数：10 / ビットレート：2048Kbps に設定し、カメラ4台を録画した場合、録画できる日数は「22日」となります。

[次ページへ >](#)

静止画設定

静止画撮影についての基本的な設定が行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「静止画設定」をクリックすると表示されます。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

操作手順

1. それぞれ設定したい項目をクリックして選択します。
2. 設定が完了したら画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。
画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。

- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
- 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。
- 「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

ワンポイントアドバイス!

撮影を行う時間は「撮影スケジュール (54 ページ)」で設定します。忘れずに設定してください。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力1 に対しての設定が行われます。

自動撮影

「チャンネル」で設定したカメラチャンネルに対しスケジュール撮影を行うか選択します。

- 有効 = スケジュール撮影する
- 無効 = スケジュール撮影しない

録画ストリーム

「チャンネル」で設定したカメラチャンネルに対しての録画ストリームを選択します。

- メインストリーム = 撮影の際、メインストリームの設定で撮影 (高画質)
- サブストリーム = 撮影の際、サブストリームの設定で撮影 (低画質)

※撮影の際は「メインストリーム」をご利用をおすすめいたします。

※「メインストリーム」「サブストリーム」の詳細はそれぞれ個別に設定が行えます。

撮影間隔

「スケジュール撮影」の際の撮影間隔を指定します。

設定した時間ごとに静止画を保存していきます。

アラーム撮影間隔

「動体検知撮影」「アラーム撮影」の際の撮影間隔を指定します。

イベントが発生した際、設定した時間ごとに静止画を保存していきます。

※「動体検知撮影」「アラーム撮影」を行わない場合、設定の必要はありません。

マニュアル撮影

手動操作で行う「マニュアル撮影」を行えるようにするか設定します。

※「マニュアル撮影」を行わない場合、設定の必要はありません。

撮影スケジュール

撮影を行うスケジュールを設定できます。

本機では1週間を30分単位で行うことができます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「静止画設定」>「撮影スケジュール」の順に選択すると表示されます。

1. カメラ CH を選択

2. 撮影の種類を選択

3. 撮影する時間を選択
「スケジュールエリア」
マウスでドラッグするとドラッグした範囲を一括変更できます。

4. クリックすると設定を保存します。

操作手順

1. 「チャンネル」から設定したいカメラチャンネルを選択します。
2. 撮影の種類を選択します。(スケジュール / 動体検知 / アラーム)
3. 「スケジュールエリア」に撮影する時間を選択します。
クリック(ドラッグ)する度に「撮影する(色付)/撮影しない(色なし)」が切替ります。
4. 設定が完了したら画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。
画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。

- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
- 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。
- 「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

スケジュール設定例

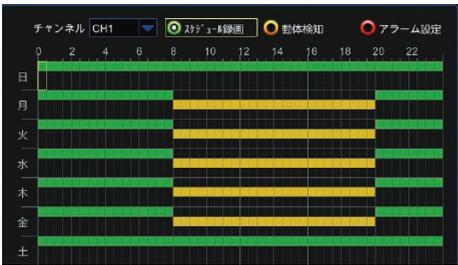
スケジュール撮影のみ



スケジュール撮影

平日 / 土日ともに 24 時間

スケジュール撮影 / 動体検知撮影の併用



スケジュール撮影

平日 20:00 ~ 翌日 8:00

土日 24 時間

動体検知撮影

平日 8:00 ~ 20:00

スケジュール撮影 / 動体検知撮影 / アラーム撮影の併用



スケジュール撮影

平日 / 土日ともに 24 時間

動体検知撮影

月～金 6:00 ~ 20:00

アラーム撮影

平日 20:00 ~ 翌日 6:00

土日 24 時間

ワンポイントアドバイス!

本機では「静止画撮影」と「録画（動画）」を併用することができます。カメラ映像の記録は「録画」を基本とし、補助的に「静止画撮影」を利用させていただくことをおすすめいたします。

上書き設定

本機では内蔵のハードディスク (以下 HDD) の空き領域が少なくなると、日付の古いデータを削除しながら新しいデータを記録する「上書き録画」機能が搭載されています。設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「デバイス」をクリックすると表示されます。



1. リストから選択

2. クリックすると設定を保存します。

操作手順

- 「上書き設定」から設定したい上書き設定を選択します。
 オフ = 上書きしない 自動 = HDD フルで上書き 日数 = 指定日数で上書き
- 画面右下の「保存」をクリックすると設定を保存します。
 画面中央に「設定完了」と表示されたら「OK」をクリックして完了です。

- 設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。
- 「デフォルト」をクリックすると表示されている画面の設定値を工場出荷時の状態に戻します。

ワンポイントアドバイス!

「自動」でのご利用をお勧めいたします。記録データを一番長く残しておけます。

HDD フォーマット

本機の記録データをすべて削除したい場合は、以下の手順を参考にフォーマット（初期化）してください。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「デバイス」をクリックすると表示されます。



操作手順

1. 「選択」欄の○印をクリックしてチェックを入れます。
2. 画面右下の「HDD フォーマット」をクリックすると画面中央に「ログイン」画面が表示されます。
3. 「ユーザー名 (管理者 ID)」と「パスワード」を入力して「ログイン」をクリックするとフォーマットが行われます。

工場出荷時のログイン設定 ユーザー名：admin パスワード：空欄

■設定しない場合は「キャンセル」をクリックすると画面を終了します。

ワンポイントアドバイス!

HDD フォーマットを行うと記録データが全て消去されます。記録データは復元できなくなりますので慎重に行なってください。

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

Q & A

再生の種類と方法

本機で記録したデータを再生するには、録画（動画）を再生する「カレンダー指定」「イベント指定」「簡易再生」と静止画を再生する「静止画再生」があります。

目的に応じてそれぞれの再生方法をご利用ください。

録画再生

カレンダー指定

再生したい日付や時刻を指定して再生するもっとも簡単で基本的な方法です。

操作方法は 60 ページの「カレンダー指定」をご参照ください。

イベント指定

「動体検知録画」や「アラーム録画」など録画のきっかけになったデータを検索して再生する方法です。

操作方法は 64 ページの「イベント指定」をご参照ください。

簡易再生

直近 5 分前のデータを素早く再生する機能です。

操作方法は 70 ページの「簡易再生」をご参照ください。

静止画再生

記録された静止画を検索して再生する方法です。

静止画を再生する場合はこの方法のみになります。

操作方法は 74 ページの「静止画再生」をご参照ください。

カレンダー指定

再生したい日付や時刻を指定して再生するもっとも簡単で基本的な方法です。

操作手順

1. ライブ画面で右クリックすると「メニューリスト」が表示されますので右端の「▶再生」をクリックします。



「再生」をクリック

2. 「カレンダー指定」画面が表示されますので、再生したい「年」「月」を選択し「日付リスト」から日付を選択して「再生」ボタンをクリックします。



1. 再生したい「年」「月」を選択します

2. 再生したい日付を選択
録画データが存在する日は日付欄の右下に「▲」マークが表示されます。

3. 日付を選択したらクリック

「カレンダー指定」画面の詳細は 62 ページをご参照ください。

次ページへ >

3. 再生画面が表示され録画データが再生されます。

再生画面の操作方法については 72 ページの「再生画面の操作」をご覧ください。



ワンポイントアドバイス!

録画データの絞り込み

カレンダー指定画面(上部)の「チャンネル」「タイプ」を選択して検索ボタンを押すことで録画データの有無を絞り込みます。

再生チャンネルの選択

「再生チャンネル」でカメラ番号を選択すると指定したチャンネルのみを再生できます。
※再生画面でも同じ操作ができます。

開始時刻指定

あらかじめ再生したい時間帯が決まっている場合、「開始時刻」欄に時刻を入力すると指定した時刻から再生できます。

※再生画面でも再生時刻の移動は可能です。

日付をまたいで再生したい場合

本機で一度に行える再生は選択した日付の 0:00-23:59:59 までの 24 時間です。

日付をまたいで再生したい場合は日付を変更して、再生し直してください。

※再生画面でも日付の変更は可能です。

カレンダー指定画面



録画データの絞り込み

チャンネル

検索を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力1の録画データを検索対象とします。

タイプ

検索を行う録画の種類を選択します。

「動体検知」を選択した場合、動体検知録画のデータを検索対象とします。

検索 ボタン

クリックすると「チャンネル」「タイプ」で指定した内容で録画データを検索します。

検索結果はカレンダー表示に反映されます。

カレンダー表示

「年」「月」

変更すると「カレンダー表示」が選択した「年」「月」に対する日付に変更されます。

日付リスト

現在選択中の「年」「月」に対する日付が表示されます。

録画データが存在する日は日付欄の右下に「▲」マークが表示されます。

再生チャンネル

「再生チャンネル」でカメラ番号を選択すると再生時に指定したチャンネルのみが再生されます。※再生画面でも同じ操作ができます。

時刻指定

開始時刻

あらかじめ再生したい時間帯が決まっている場合、「開始時刻」欄に時刻を入力すると指定した時刻から再生できます。

※再生画面でも再生時刻の移動は可能です。

終了時刻 (使用しません)

再生 ボタン

選択した日付の録画データを再生します。

イベント指定

「動体検知録画」や「アラーム録画」など録画のきっかけになったデータを検索して再生する方法です。

操作手順

1. ライブ画面で右クリックすると「メニューリスト」が表示されますので右端の「▶再生」をクリックします。



「再生」をクリック

2. 「カレンダー指定」画面が表示されますので、左の一覧から「イベント」をクリックします。



「イベント」をクリック

3. 「イベント指定」画面が表示されますので、イベント検索したい「日付」「時刻」「チャンネル」「タイプ」を選択し「検索」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Event Specification' screen with the following search criteria: Date: 2017-06-06, Time: 00:00:00 to 23:59:59, Channel: All, Type: All. The search button is highlighted. Below the search criteria, a table of search results is displayed, with the first row highlighted. The table has columns for Channel Type, Date, Start Time, End Time, Size, and Playback. The search results table is as follows:

チャンネルタイプ	日付	開始時刻	終了時刻	サイズ	再生	Loc
CH1 N	2017-06-06	14:52:14	14:56:31	253MB		
CH3 N	2017-06-06	14:54:17	15:10:35	253MB		
CH1 N	2017-06-06	14:56:31	15:00:48	253MB		
CH2 N	2017-06-06	14:57:18	15:04:51	253MB		
CH1 N	2017-06-06	15:00:48	15:05:04	253MB		
CH2 N	2017-06-06	15:04:51	15:12:40	253MB		
CH1 N	2017-06-06	15:05:04	15:09:20	253MB		
CH1 N	2017-06-06	15:09:20	15:13:37	253MB		
CH3 N	2017-06-06	15:10:35	15:25:53	253MB		

Annotations in the image:

- 1. 検索条件を選択 (Select search conditions)
- 2. 「検索」をクリック (Click 'Search')
- 検索結果が表示されます (Search results are displayed)

4. 検索に該当した録画データが一覧で表示されますので、再生したい録画データをクリックすると「再生」の列に「▷」マークが表示されますので「▷」にカーソルを合わせてクリックします。

The screenshot shows the same search results table as above. The first row is highlighted, and a play button (▷) is visible in the '再生' column. The page number '7/10' is shown at the bottom. Annotations in the image:

- 再生したいデータをクリックすると再生の列に「▷」マークが現れます。「▷」をクリックすると、再生が開始されます。(Click the data you want to play, and a play button (▷) will appear in the playback column. Clicking the play button will start playback.)
- 検索対象が多い場合、「<<」「>>」をクリックしてページ送りできます。(When there are many search targets, you can click '<<'' and '>>'' to move between pages.)

「イベント指定」画面の詳細は 67 ページをご参照ください。

次ページへ >

5. 再生画面が表示され録画データが再生されます。

再生画面の操作方法については 72 ページの「再生画面の操作」をご覧ください。



ワンポイントアドバイス!

イベント再生時の再生画面

イベント再生時は「フルスクリーン表示」で再生されます。

再生画面を操作したい場合は、マウスカーソルを再生画面の一番下の位置に移動させると操作画面が表示されます。

イベント指定画面

録画データの検索



ページ送り

検索結果画面

検索画面を終了します

バックアップボタン

録画データの検索

日付 / 時刻

検索を行う日付と時刻を選択します。

日付の選択は日付表示をクリックするとカレンダー画面が表示されます。

時刻は 00:00:00~23:59:59 の範囲で指定可能です。

チャンネル

検索を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力 1 の録画データを検索対象とします。

タイプ

検索を行う録画の種類を選択します。

「動体検知」を選択した場合、動体検知録画のデータを検索対象とします。

[次ページへ >](#)

バックアップ ボタン

検索を行なった後にクリックすると検索結果全てをバックアップすることができます。
バックアップの詳細は 80 ページの「バックアップの種類」をご参照ください。

検索 ボタン

クリックすると指定した内容に該当する録画データを検索します。
検索結果は検索結果画面に表示されます。

検索結果画面

■ (チェック枠)

クリックするとチェックマークが表示され選択状態になります。
バックアップの際に利用します。

チャンネル / 日付 / 開始時刻 / 終了時刻

検索されたデータのカメラチャンネル、録画日時を表示しています。

サイズ

検索した録画データのファイルサイズを表示しています。
※連続録画を行っていた場合でも一定間隔でデータサイズが分割して表示されます。

再生

検索した録画データをクリックして選択すると「▷」マークが表示されます。
「▷」マークをクリックするとデータが再生されます。

Lock

クリックして選択すると「✓ (チェック)」マークが表示されます。
「✓」を付けたデータは上書き録画されなくなります。

次ページへ >

ページ送り

検索対象が多い場合、「<<」「>>」をクリックしてページ送りできます。

バックアップボタン

検索結果ウィンドウでチェックをつけた項目をバックアップすることができます。

バックアップの詳細は 80 ページの「バックアップの種類」をご参照ください。

簡易再生

直近 5 分前のデータを素早く再生する機能です。

操作手順

1. ライブ画面で再生したいカメラの映像をクリックすると「サブメニュー」が表示されますので「簡易再生」をクリックします。



サブメニューを表示して「簡易再生」をクリック

2. 選択したカメラチャンネルの映像が簡易再生されます。
簡易再生画面の操作方法は次ページをご覧ください。



簡易再生画面



👉 **ワンポイントアドバイス!**

簡易再生で再生できるのは直近5分前の録画のみです。

他の時間も再生したい場合は、

「カレンダー指定 (60 ページ)」「イベント指定 (64 ページ)」再生をご利用ください。

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

Q & A

再生画面の操作 (カレンダー指定 / イベント指定)

再生画面の操作はマウスを使って行います。

マウス操作

クリック — 項目の選択

ダブルクリック — 選択CHの単画面表示/4分割表示の切替

右クリック — 一つ前の画面に戻る/再生終了



カレンダー表示

クリックすると再生日を変更できます。
録画データがある日は日付の下に「▲」が表示されます。

再生終了

クリックすると再生を終了して検索画面に戻ります。

カメラCH 録画された日時



再生カメラ選択

再生ツールバー

時間帯表示 (ジャンプ再生)

時間帯表示の縮尺変更

録画種類

時間帯表示 (ジャンプ再生)

録画データがある部分は色で表示されます。
録画データがある部分をクリックするとクリックした時間帯を再生します。

時間帯表示の縮尺変更

選択を変更すると時間帯の表示尺度が変わります。

録画種類

時間帯表示に表示される録画データの色

再生ツールバー



再生タイプ ※「イベント指定」再生時は表示されません。



再生の種類を変更できます。
「全般 (カレンダー指定)」「イベント」「静止画再生」
の3つから選択可能です。

再生カメラ選択 ※「イベント指定」再生時は表示されません。



クリックしてチェックを入れると、再生画面に表示されます。
2つ以上にチェックを入れると4分割表示になります。

はじめに

設定

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

Q & A

静止画再生

記録された静止画を検索して再生する方法です。
静止画を再生する場合はこの方法のみになります。

操作手順

1. ライブ画面で右クリックすると「メニューリスト」が表示されますので、右端の「▶ 再生」をクリックします。



「再生」をクリック

2. 「カレンダー指定」画面が表示されますので、左の一覧から「静止画再生」をクリックします。



「静止画再生」をクリック

3. 「イベント指定」画面が表示されますので、イベント検索したい「日付」「時刻」「チャンネル」「タイプ」を選択し「検索」ボタンをクリックします。



4. 検索に該当した録画データが一覧で表示されますので、再生したい録画データをクリックすると「再生」の列に「▶」マークが表示されますので「▶」にカーソルを合わせてクリックします。



「静止画再生」画面の詳細は 77 ページをご参照ください。

次ページへ >

5. 静止画の再生画面が表示され 静止画撮影されたデータが表示されます。
操作方法については 79 ページの「静止画再生の操作」をご覧ください。



静止画再生画面

静止画データの検索

No.	チャンネル	タイプ	日付	時刻	サイズ	再生
1	CH1	N	2017-06-06	09:12:09	237KB	
2	CH1	N	2017-06-06	09:12:15	181KB	
3	CH1	N	2017-06-06	09:12:20	160KB	
4	CH1	N	2017-06-06	09:12:25	160KB	
5	CH1	N	2017-06-06	09:12:30	161KB	
6	CH1	N	2017-06-06	09:12:35	160KB	
7	CH1	N	2017-06-06	09:12:40	160KB	
8	CH1	N	2017-06-06	09:12:45	160KB	
9	CH1	N	2017-06-06	09:12:50	160KB	

検索結果画面

バックアップボタン

検索画面を終了します

ページ送り

静止画データの検索

日付 / 時刻

検索を行う日付と時刻を選択します。

日付の選択は日付表示をクリックするとカレンダー画面が表示されます。

時刻は 00:00:00~23:59:59 の範囲で指定可能です。

チャンネル

検索を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力 1 の静止画データを検索対象とします。

タイプ

検索を行う静止画の種類を選択します。

「動体検知」を選択した場合、動体検知で記録した静止画データを検索対象とします。

[次ページへ >](#)

バックアップ ボタン

検索を行なった後にクリックすると検索結果全てをバックアップすることができます。
バックアップの詳細は 80 ページの「バックアップの種類」をご参照ください。

検索 ボタン

クリックすると指定した内容に該当する録画データを検索します。
検索結果は検索結果画面に表示されます。

検索結果画面

■ (チェック枠)

クリックするとチェックマークが表示され選択状態になります。
バックアップの際に利用します。

チャンネル / 日付 / 開始時刻 / 終了時刻

検索されたデータのカメラチャンネル、録画日時を表示しています。

サイズ

検索した静止画データのファイルサイズを表示しています。

再生

検索した静止画データをクリックして選択すると「▷」マークが表示されます。
「▷」マークをクリックするとデータが再生されます。

ページ送り

検索対象が多い場合、「<<」「>>」をクリックしてページ送りできます。

バックアップボタン

検索結果ウィンドウでチェックをつけた項目をバックアップすることができます。
バックアップの詳細は 80 ページの「バックアップの種類」をご参照ください。

静止画再生の操作

再生画面の操作はマウスを使って行います。

マウス操作

クリック
項目の選択

ダブルクリック
選択CHの単画面表示/4分割表示の切替



右クリック

一つ前の画面に戻る/再生終了

カメラCH

CH1

録画された日時

2017-06-06 09:12:20



逆再生 / 一時停止

静止画データを
過去に遡って表示(1秒ごと)

再生 / 一時停止

静止画データを
記録した順に表示(1秒ごと)

停止

4画面

4つの静止画を同時に表示

1画面

次ページ

一つ先の静止画を表示

前ページ

一つ前の静止画を表示

バックアップの種類

本機で記録したデータは市販の「USB メモリ」にコピーして保存することができます。バックアップの3種類あります。

再生保存

「カレンダー指定」や「イベント指定」の映像再生中に映像を確認しながら保存範囲を指定して保存する方法です。

操作方法は 81 ページの「再生保存」をご参照ください。

ファイル指定保存

「イベント指定」や「静止画再生」で検索した記録データを1ファイルずつ指定して保存する方法です。

操作方法は 84 ページの「ファイル指定保存」をご参照ください。

検索一括保存

「イベント指定」や「静止画再生」での検索内容を一括で保存する方法です。

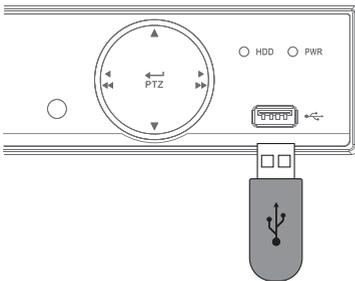
操作方法は 87 ページの「検索一括保存」をご参照ください。

再生保存

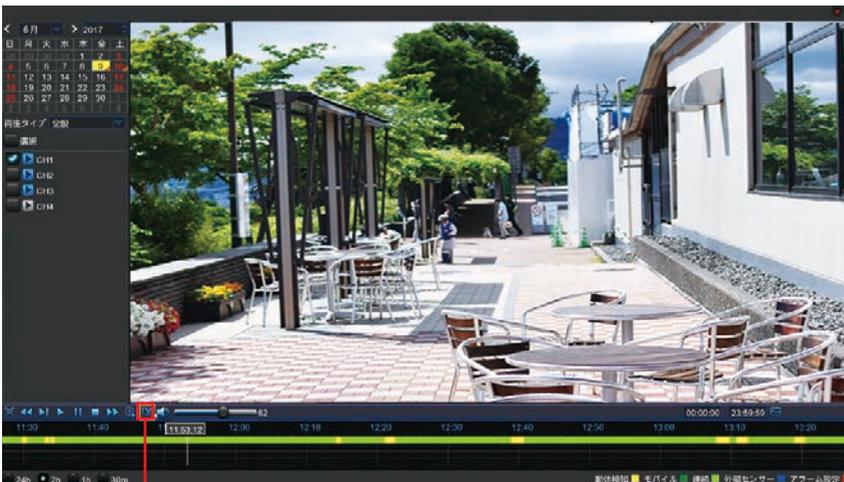
「カレンダー指定」再生中に映像を確認しながら行う保存方法です。

操作手順

1. お手持ちの「USB メモリ」を本機の USB ポートに接続します。



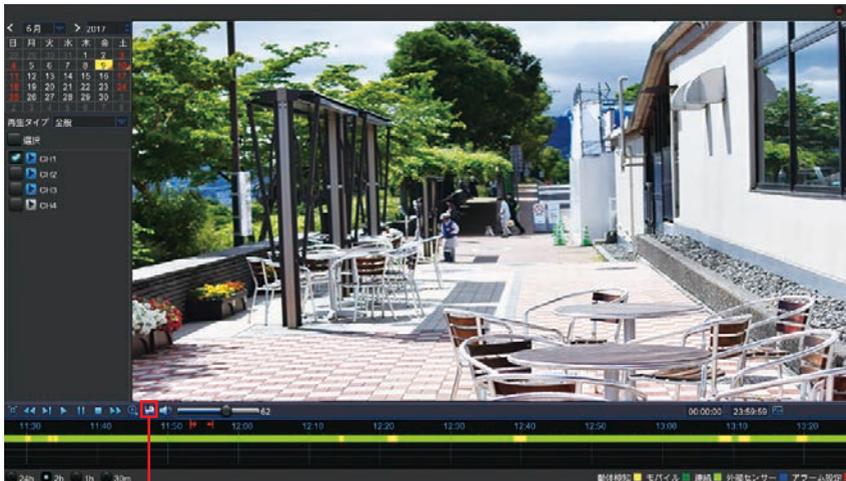
2. 録画データを「カレンダー指定」で再生しバックアップしたいカメラチャンネルを 1 画面表示にします。バックアップしたい時間帯の映像が始まったら再生ツールバーの「 (バックアップマーク)」をクリックしそのまま再生を続けます。



をクリックするとバックアップ開始

バックアップが開始されると  が  に変わります。

3. バックアップしたい時間帯が終わったら「 (保存)」ボタンをクリックします。



 をクリック

4. バックアップ形式を選択して「保存」をクリックします。

※バックアップ形式は「AVI」または「mp4」をご利用ください。

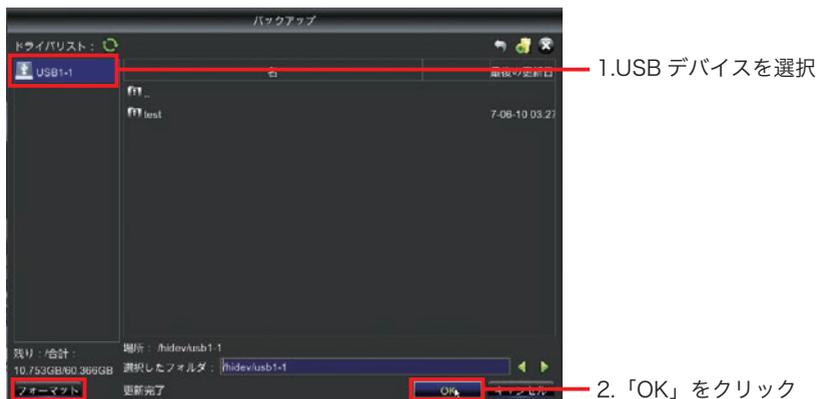


1. 形式を選択

2. 「保存」をクリック

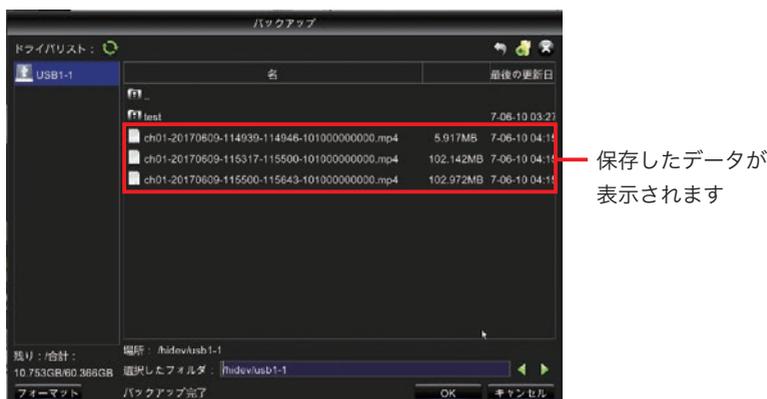
5. 保存先を選択する画面が表示されますので、画面左に表示されている「USB デバイス」をクリックして「OK」をクリックするとバックアップデータが保存されます。

※必要に応じて保存先のファイルディレクトリを作成、指定することも可能です。



うまく保存できない場合 USB メモリを「フォーマット」して再度お試しください

6. 保存が終了すると再びバックアップ画面に戻ります。
バックアップを終了する場合は、「右クリック」してください。



ワンポイントアドバイス!

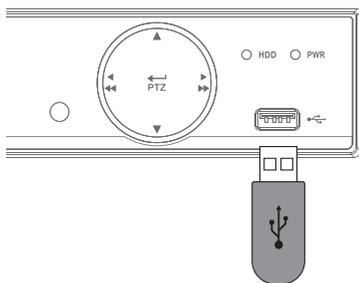
1 回のバックアップで保存できるのは 1 つのチャンネルのみになります。
録画時間が長い場合などはデータが複数に別れて保存される場合があります。

ファイル指定保存

「イベント指定」や「静止画再生」で検索した記録データを1ファイルずつ指定して保存する方法です。(本項では「イベント指定」画面での操作を説明します)

操作手順

1. お手持ちの「USBメモリ」を本機のUSBポートに接続します。



2. 「イベント指定」または「静止画再生」画面から、バックアップしたいデータの検索を行います。

検索結果の中からバックアップしたいデータを決め、検索結果画面の左側の「チェック枠」にチェックを入れ、画面下の「バックアップ」をクリックします。



1. 保存したいデータにチェックをつけます

2. 「バックアップ」をクリック

3. バックアップ形式を選択して「保存」をクリックします。

※バックアップ形式は「AVI」または「mp4」をご利用ください。



4. 保存先を選択する画面が表示されますので、画面左に表示されている「USB デバイス」をクリックして「OK」をクリックするとバックアップデータが保存されます。

※必要に応じて保存先のファイルディレクトリを作成、指定することも可能です。



うまく保存できない場合 USB メモリを「フォーマット」して再度お試しください

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

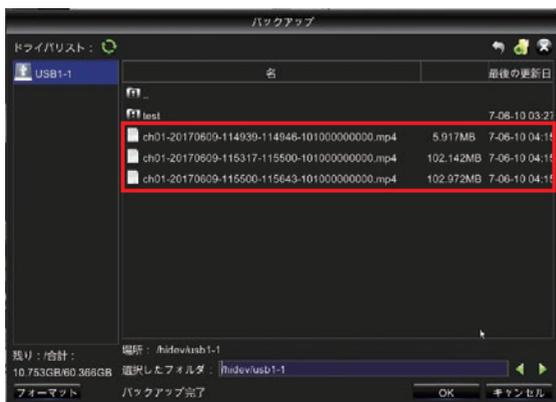
リモート

仕様

Q & A

5. 保存が終了すると再びバックアップ画面に戻ります。

バックアップを終了する場合は、「右クリック」してください。



保存したデータが表示されます

ワンポイントアドバイス!

一度にたくさんのデータを保存する場合、保存するデータ量が増えますので「USBメモリ」の空容量にご注意ください。

データ量が多い場合、バックアップに時間がかかることがあります。

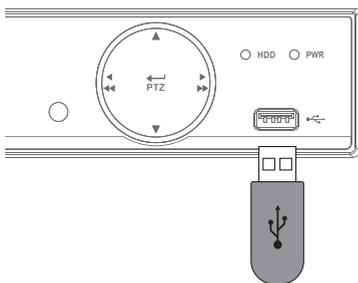
本機で使用できるUSBメモリ容量は最大64GBとなっております。

検索一括保存

「イベント指定」や「静止画再生」での検索内容を一括で保存する方法です。
(本項では「イベント指定」画面での操作を説明します)

操作手順

1. お手持ちの「USBメモリ」を本機のUSBポートに接続します。



2. 「イベント指定」または「静止画再生」画面から、バックアップしたいデータの検索を行い検索結果が表示されたら画面上の「バックアップ」をクリックします。

チャンネルタイプ	日付	開始時刻	終了時刻	サイズ	再生	Log
CH1	N	2017-06-06	14:52:14	14:56:31	253MB	
CH3	N	2017-06-06	14:54:17	15:10:35	253MB	
CH1	N	2017-06-06	14:56:31	15:00:48	253MB	
CH2	N	2017-06-06	14:57:18	15:04:51	253MB	
CH1	N	2017-06-06	15:00:48	15:05:04	253MB	
CH2	N	2017-06-06	15:04:51	15:12:40	253MB	
CH1	N	2017-06-06	15:05:04	15:09:20	253MB	
CH1	N	2017-06-06	15:09:20	15:13:37	253MB	

1. 検索結果が表示されたら
「バックアップ」を
クリック

検索結果

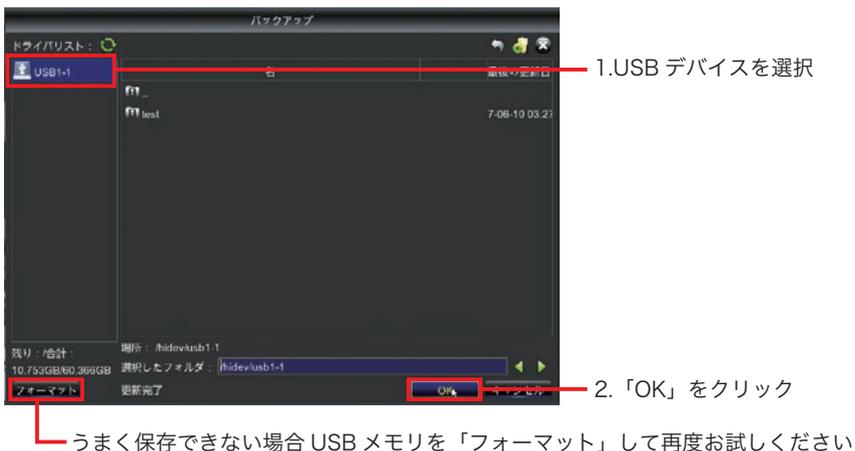
3. バックアップ形式を選択して「保存」をクリックします。

※バックアップ形式は「AVI」または「mp4」をご利用ください。

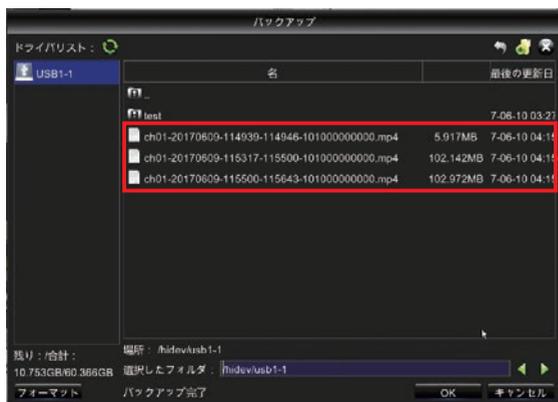


4. 保存先を選択する画面が表示されますので、画面左に表示されている「USB デバイス」をクリックして「OK」をクリックするとバックアップデータが保存されます。

※必要に応じて保存先のファイルディレクトリを作成、指定することも可能です。



5. 保存が終了すると再びバックアップ画面に戻ります。
バックアップを終了する場合は、「右クリック」してください。



保存したデータが表示されます

ワンポイントアドバイス!

検索一括保存の場合、保存するデータ量にご注意ください。
本機で使用できる USB メモリ容量は最大 64GB となっております。
データ量が多い場合、バックアップに時間がかかることがあります。

モニター設定

映像表示についての設定が行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「モニター設定」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力1 に対しての設定が行われます。

チャンネル名

「チャンネル」で設定したカメラチャンネルの表示名(英数字+記号)を設定できます。クリックすると入力キーボードが表示されます。

チャンネル名表示

カメラ画面に表示されるチャンネル名の表示有無を設定できます。

録画時刻表示

有効にすると録画の際、時刻をカメラ映像と一緒に記録します。(有効を推奨)

※無効にすると設定していた期間の録画映像に時刻表示がなくなります。

OSD 表示位置

「設定」をクリックするとカメラ画面が表示され、「チャンネル名」「録画時刻表示」の表示位置を移動することができます。

カラー設定

「設定」をクリックするとカメラ映像の「色相」「輝度」「コントラスト」「彩度」を調整することができます。

※この設定はサブメニューの「カラー設定」と同じ項目です。

※カメラ側でカラー調整可能な機種の場合、本機の設定の前にカメラ側の設定で調整していただくことを推奨いたします。

ライブ非表示

有効にするとカメラのライブ映像を非表示にします。

※録画は継続されますので、再生映像は通常通り表示されます。

AHD イコライザ

AHD カメラの映像品質を調整します。

※通常は「無効」でご利用ください

時刻表示

無効に設定すると画面上の時刻表示を非表示にします。

録画時刻は映像と共に記録されます。

※この設定は全てのチャンネルで共有されます。

映像出力

出力される映像についての設定が行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「モニター設定」>「映像出力」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

映像表示

使用しません。(何も設定できません)

シーケンス表示画面

使用しません。(何も設定できません)

シーケンス切替時間

巡回監視の際のカメラの切り替え時間を設定できます。

1 ~ 300 秒の範囲で自由に設定できます。

表示解像度

モニターへの出力解像度を設定できます。

設定の値は HDMI 出力、VGA 出力の両方で同じ設定が適用されます。

※ HDMI 出力を利用されるかたは「1920x1080」を設定してください。

透明度

メニュー画面の透過率を設定できます。(透過しない) 0 ↔ 128(透過する)

透過率を高く設定するとメニュー画面が透過しライブ映像が確認できます。

オーバースキャン有効

「✓(チェック)」マークを付けると画面を少し小さく表示します。

ご利用のモニターで画面の端が切れてしまう場合に設定してください。

プライバシー

カメラ映像に表示させたくない箇所がある場合、プライバシーマスクを設定して目隠しすることができます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「モニター設定」>「プライバシー」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力 1 に対してのマスク設定が行われます。

非表示

プライバシーマスクの表示有無を選択できます。

「有効」に設定すると画面上にプライバシーマスクが表示されます。

有効エリア

「✓ (チェック)」マークを付けるとエリア設定画面にマスクエリアが表示されます。
本機では一つのチャンネルにつき4箇所までマスクを設定できます。

非表示設定

「設定」をクリックするとプライバシーマスクのエリア設定画面が表示されます。
設定保存されたマスクエリアは黒で塗りつぶされます。

エリア設定画面



- 番号部分をクリックして「ドラッグ」するとエリア枠を移動できます。
- 赤い枠をクリックして「ドラッグ」すると枠の大きさを自由に設定できます。
- 設定を終了する場合は「右クリック」してください。

ネットワーク

本機をインターネット環境に接続して使う場合、IP アドレスの設定を行なって下さい。設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「ネットワーク」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

通信プロトコル (PPPoE/DHCP/ 固定 IP/3G)

利用するネットワーク環境に応じて選択してください。選択項目によって中段の設定内容が変化します。

- PPPoE = ブリッジ接続等で直接インターネットに接続します
- DHCP = ルーターよりローカル IP を取得します
- 固定 IP(推奨) = 本機のローカル IP を手動で設定します
- 3G = 本機では使用しません

クライアントポート

リモートアクセス時に利用するポート番号を任意で指定できます。

HTTP ポートと同じ番号を設定しないよう注意してください。

※通常は初期値のままご利用ください。

HTTP ポート

リモートアクセス時に利用するポート番号を任意で指定できます。

クライアントポートと同じ番号を設定しないよう注意してください。

※通常は初期値のままご利用ください。

UPNP

有効にすると UPnP を使用して通信します。

※お使いのルーターによってはうまく動作しない場合があります。

ワンポイントアドバイス!

本機をインターネットへ接続しない場合

本機をインターネットに接続しない場合は設定不要です。

設定する IP 情報がわからない場合

本機へ設定する IP 情報はお使いの LAN 環境のネットワーク管理者の方へご確認のうえ設定を行なってください。当社へお問い合わせいただいてもお答えすることができません。

ポート番号を任意で設定する場合

※ポート番号を変更される場合は他のネットワーク機器で使用している場合がありますので任意で設定される場合は、設置場所のネットワーク管理者の方へご確認ください。

ポート解放

グローバルアクセスを行う場合はご利用の LAN 環境のブロードバンドルーターでポート解放を行う必要があります。ポート解放は本機で設定した「クライアントポート」「HTTP ポート」の両方を解放してください。

ブロードバンドルーターへのポート解放の設定方法についてはお使いのルーターの取扱説明書をご覧になるかルーターの製造メーカーへお問い合わせください。当社へお問い合わせ頂いてもご案内できません。

DDNS

DDNS を使用する場合、本項で設定できます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「ネットワーク」>「DDNS」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

DDNS

有効にすると DDNS が有効になります。

無効にすると他の設定項目がグレー表示され入力ができなくなります。

サーバ

リストの中から利用する DDNS サーバーを選択できます。

※ DDNS サーバを利用する場合、それぞれのサーバーと別途利用登録や契約が必要です。

ドメイン名

DDNS で利用するドメイン名を入力します。

ユーザー名

ご利用になる DDNS サーバーで登録したユーザー名を入力します。

パスワード

ご利用になる DDNS サーバーで登録したパスワードを入力します。

DDNS テスト

入力した内容で DDNS サーバへテスト接続します。

接続できない場合、DDNS の設定情報が間違っていますので再度確認してください。

ワンポイントアドバイス!

DDNS を使うには本機のネットワーク設定が必要です

本機能を利用する場合、あらかじめ本機の「ネットワーク (P.96)」の設定を行なってください。設定しないとご利用いただけません。

グローバルアクセスしない場合

本項目の設定は不要です。

DDNS サーバーについて

DDNS サーバを利用する場合、それぞれのサーバーと別途利用登録や契約が必要です。当社では DDNS サーバーの登録方法などのサポートは行なっておりませんのでご了承ください。

RTSP

本機ではこの機能は利用できません。



FTP

本機ではこの機能は利用できません。



動体検知

本機で動体検知をする際の感度やエリア、検知時の動作を設定することができます。設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「アラーム設定」>「動体検知」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。

1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力1 に対しての設定が行われます。

検知

「有効」に設定すると動体検知が有効になります。スケジュール設定よりも本項の設定が優先されます。

ブザー

設定すると動体検知時にブザー音でお知らせします。

次ページへ >

検知感度

動体検知の検知感度を設定できます。

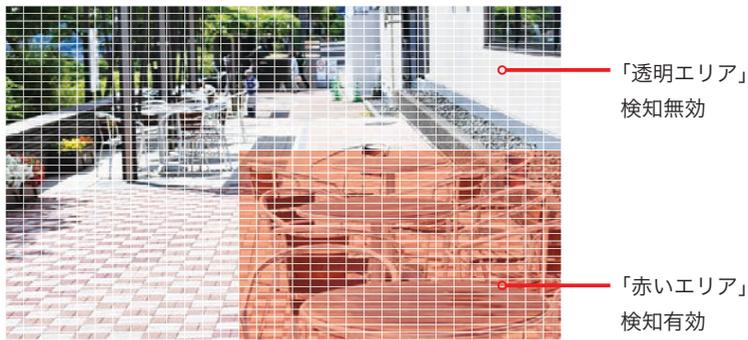
(低感度) 1 ↔ 8(高感度)

検知エリア

動体検知の検知エリアを設定できます。

「設定」ボタンをクリックすると設定画面が表示されます。

検知エリア設定画面



■ 設定画面の「四角いマス」を「クリック」または「ドラッグ」すると検知エリアの有効 / 無効を切り替えられます。

■ 設定を終了する場合は「右クリック」してください。

録画継続時間

動体検知した時の録画時間を設定できます。

アラーム保持

動体検知した際に外部の機器へ接点出力を行う時間を設定できます。

ご利用の場合「アラーム出力」の項目にも「✓(チェック)」をつけてください。

※外部機器との接続方法は「アラーム(接点)出力(P.18)」をご参照ください。

次ページへ >

アラーム出力

「 (チェック)」をつけると動体検知した際に外部の機器へ接点出力を行うことができます。ご利用の場合「アラーム保持」の項目も設定してください。

※外部機器との接続方法は「アラーム (接点) 出力 (P.18)」をご参照ください。

メッセージ表示

「 (チェック)」をつけると動体検知の際、画面上に「**M**」マークを表示します。

Eメール送信

「 (チェック)」をつけると動体検知の際、Eメールを送信します。

※メールスケジュールよりも本項の設定が優先されます。

全画面表示

「 (チェック)」をつけると動体検知の際、1画面表示に切替えます。

検知前に「4画面表示」していた場合、録画継続時間経過後に4画面表示に戻ります。

「巡回監視」を行っていた場合、巡回監視の順番に割り込み表示されます。

録画チャンネル

「 (チェック)」をつけると動体検知の際、どのチャンネルを録画するか設定できます。

例：CH1の動体検知設定で録画チャンネル「1」「2」「3」を設定した場合

CH1が動体検知した時「CH1」「CH2」「CH3」のカメラ映像が録画されます。

ワンポイントアドバイス!

「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

外部センサー

外部センサーを接続し本機と連動させる際の設定を行うことができます。
設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「パラメータ」をクリックし、左の一覧から「アラーム設定」>「外部センサー」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

外部センサー

設定を行う外部センサーを選択します。

「外部センサー 1」を選択した場合、外部センサー 1 に対しての設定が行われます。

※外部センサーとの接続方法は「外部センサー入力配線 (P.17)」をご参照ください。

リレータイプ

外部センサーのリレー方式を設定できます。

オープン = ノーマルオープン (N.O) クローズ = ノーマルクローズ (N.C)
オフ = センサーを使用しない

アラーム保持

外部センサーが検知した際に外部のアラーム機器へ接点出力を行う時間を設定できます。ご利用の場合「アラーム出力」の項目にも「 (チェック)」をつけてください。

ブザー

設定すると外部センサー検知時にブザー音でお知らせします。

録画継続時間

外部センサー検知した時の録画時間を設定できます。

アラーム出力

「 (チェック)」をつけると外部センサー検知した際に外部のアラーム機器へ接点出力を行うことができます。ご利用の場合「アラーム保持」の項目も設定してください。

メッセージ表示

「 (チェック)」をつけると外部センサーが検知した際、画面上に「**I**」マークを表示します。

Eメール送信

「 (チェック)」をつけると外部センサーが検知した際、Eメールを送信します。

※メールスケジュールよりも本項の設定が優先されます。

全画面表示

「 (チェック)」をつけると外部センサーが検知した際、1画面表示に切替えます。検知前に「4画面表示」していた場合、録画継続時間経過後に4画面表示に戻ります。「巡回監視」を行っていた場合、巡回監視の順番に割り込み表示されます。

録画チャンネル

「✓」をつけると外部センサーが検知した際、どのチャンネルを録画するか設定できます。

例：CH1 の動体検知設定で録画チャンネル「1」「2」「3」を設定した場合

CH1 が動体検知した時「CH1」「CH2」「CH3」のカメラ映像が録画されます。

ワンポイントアドバイス!

「コピー」を使用すると他のチャンネルに同じ設定を反映することができます。

PTZ

PTZ カメラを本機と RS-485 接続して使用する場合に設定してください。
設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「デバイス」をクリックし、左の一覧から「PTZ」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。

1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

チャンネル

設定を行うカメラチャンネルを選択します。

「CH1」を選択した場合、カメラ入力 1 に対しての設定が行われます。

プロトコル

RS-485 通信時のプロトコルを選択できます。

ボーレート

RS-485 通信時のボーレートを選択できます。

データビット / ストップビット / パリティ

RS-485 通信時の設定を入力して下さい。

※設定値は接続する PTZ カメラで指定されて値を入力してください。

.....

自動巡回 (ツアー)

PTZ カメラの自動巡回設定の有効 / 無効を設定できます。

.....

アドレス

ご利用のカメラ ID を入力してください。

ワンポイントアドバイス!

PTZ カメラを利用するには PTZ カメラと本機を RS-485 接続する必要があります。
RS-485 の接続方法は「RS-485 配線 (P.19)」をご参照ください。

クラウド

本機ではこの機能は利用できません。



はじめに

設定

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

Q & A

全般

本機の日時や言語設定などが行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「システム」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

日付 / 時刻

日付と時刻を設定できます。

※時刻は定期的に確認の上、設定してください。

※インターネットに接続できる環境の場合 NTP サーバーを利用して時刻の自動補正が可能です。NTP の設定は「NTP(P.113)」をご参照ください。

日付表示形式

日付の表示形式を選択できます。

例：YY-MM-DD = 年 - 月 - 日 の順で表示されます。

時刻表示形式

時刻の表示形式 (12 時間 /24 時間) を選択できます。

言語

言語を変更できます。
基本は「日本語」でご利用ください。

ビデオ形式

「NTSC」のまま変更せずにお使いください。

メニュータイムアウト

時間を設定するとメニュー画面で一定時間操作しないとライブ画面に戻ります。

モード

本機のモードを変更できます。
基本は「DVR」モードでご利用ください。

※「XVR」モードにすると Onvif に準拠した IP カメラを認識できるようになりますが、メニュー画面の内容も変わります。

ウィザード表示

「✓ (チェック)」マークを付けると本機を起動するたびに「スタートアップウィザード」が表示されます。

夏時間

サマータイムの設定が行えます。

日本ではサマータイム制度が導入されておりませんので設定せずにお使いください。



NTP

本機の日時をインターネット上の NTP サーバーと同期して自動で時刻補正が行えます。設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「システム」をクリックし、左の一覧から「NTP」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。

1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

NTP

有効にすると NTP サーバとの時刻同期が行われるようになり、「今すぐ時刻調整する」ボタンが表示されます。

※ NTP サーバとの同期は 1 日一回自動的に行われます。

サーバアドレス

同期するサーバを選択できます。

うまく同期されない場合はサーバを変更してお試しください。

タイムゾーン

タイムゾーンを指定します。
日本国内は「GMT+9:00」に設定してください。

.....

今すぐ時刻調整する

ボタンをクリックすると時刻補正を行います。

ワンポイントアドバイス!

あらかじめ本機の「ネットワーク」の設定を行いインターネットに接続できる状態が必要です。

時刻同期に失敗する場合、「ネットワーク (P.96)」をご参照の上、設定を行ってください。

NTP サーバーとの同期は 1 日一回自動的に行われます。

ユーザー

本機では admin(管理者) 他にユーザー権限を 6 つまで設定することができます。設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「システム」をクリックし、左の一覧から「ユーザー」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。

The screenshot shows the 'システム' (System) menu with a sub-menu 'ユーザー' (Users). A table lists users with columns for No., ユーザー名 (Username), レベル (Level), and 有効 (Active). A red box highlights the table, and an arrow points to it with the text '1. 設定したいユーザーをクリックして選択' (Click the user you want to set and select). Below the table, buttons for '許可' (Allow), '編集' (Edit), and 'キャンセル' (Cancel) are shown. A red box highlights the '許可' and '編集' buttons, with an arrow pointing to them and the text '2. 設定したい項目 (許可 / 編集) をクリック' (Click the item you want to set (Allow / Edit)).

No.	ユーザー名	レベル	有効
1	admin	管理者	有効
2	user1	ユーザー-1	無効
3	user2	ユーザー-2	無効
4	user3	ユーザー-3	無効
5	user4	ユーザー-4	無効
6	user5	ユーザー-5	無効
7	user6	ユーザー-6	無効

設定項目詳細

編集

選択したユーザーのユーザー名やパスワードなどを設定できます。admin 以外のユーザーを有効にするには「ユーザー有効」を有効に設定してください。

※ admin 選択時「ユーザー有効」の項目は表示されません。

The screenshot shows the '編集' (Edit) dialog box for a user. It has fields for 'ユーザー名' (Username), 'ユーザー有効' (User Active), 'パスワード' (Password), and 'パスワード有効' (Password Active). A red box highlights the 'ユーザー名' and 'ユーザー有効' fields, with an arrow pointing to it and the text '1. ユーザー名、パスワードを設定できます' (You can set the username and password). At the bottom, there are buttons for 'リセット' (Reset), '保存' (Save), and 'キャンセル' (Cancel). A red box highlights the '保存' button, with an arrow pointing to it and the text '2. 設定が終わったら「保存」をクリックして終了' (After the setting is finished, click 'Save' to end).

許可 (admin 選択時は表示されません)

選択したユーザーごとに付与する権限を設定できます。

許可したい権限に「✓ (チェック)」マークを付けると権限が付与されます。



1. 許可したい項目にチェック

2. 設定が終わったら「保存」をクリックして終了します

ワンポイントアドバイス!

admin 含め 2 ユーザー以上が有効になるとライブ画面の「メニューリスト」に「マニュアルロック」マークが表示され操作時にログインが必要になります。

admin(管理者) にパスワード設定した場合、忘れないようご注意ください。

マニュアルロック

Admin 含め 2 ユーザー以上が有効になるとライブ画面の「メニューリスト」に「マニュアルロック」マークが表示され各種操作の際にログイン画面が表示され「ログイン」が必要になります。

ログイン画面



マニュアルロック表示(メニューリスト)

 = ロック中 (ログオフ)

 = ロック解除 (ログイン状態)

システム情報

デバイス ID とデバイス名の変更、本機のシステム情報を見ることができます。
設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「システム」をクリックし、左の一覧から「システム情報」をクリックすると表示されます。



チャンネル情報

各カメラチャンネルに設定されている情報を見ることができます。
設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「システム」をクリックし、左の一覧から「システム情報」>「チャンネル情報」をクリックすると表示されます。



録画情報

現在設定されている録画の設定を見ることができます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「システム」をクリックし、左の一覧から「システム情報」>「録画情報」をクリックすると表示されます。



ログ

本機の動作情報を見ることができます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「システム」をクリックし、左の一覧から「ログ」をクリックすると表示されます。



1. 検索条件を指定

2. 「検索」をクリック

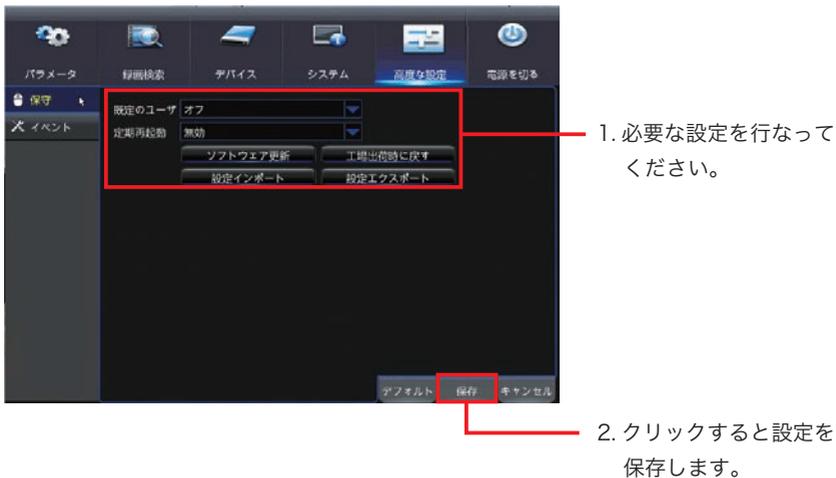
検索結果が表示されます

保守

本機の保守に関する設定が行えます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「高度な設定」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

規定のユーザー

2 ユーザー以上を設定している場合の規定ユーザーを設定できます。

定期再起動

スケジュールを決めて定期的に再起動が行えます。

有効に設定するとスケジュールを入力する欄が表示されます。

ソフトウェア更新

USB メモリを利用してソフトウェアの更新が行えます。
更新方法は更新用ソフトウェア公開時にご案内する手順で行ってください。

工場出荷設定に戻す

本機の設定内容を工場出荷時の設定に設定に戻すことができます。
クリックすると選択画面が表示され元に戻す設定を選択することができます。

※全ての設定を工場出荷設定に戻しても録画データは削除されません。



設定インポート

あらかじめ市販の「USB メモリ」に保存しておいた本機の設定情報をインポートして上書きすることができます。

設定エクスポート

本機の設定情報を市販の「USB メモリ」に書き出すことができます。

👉 ワンポイントアドバイス!

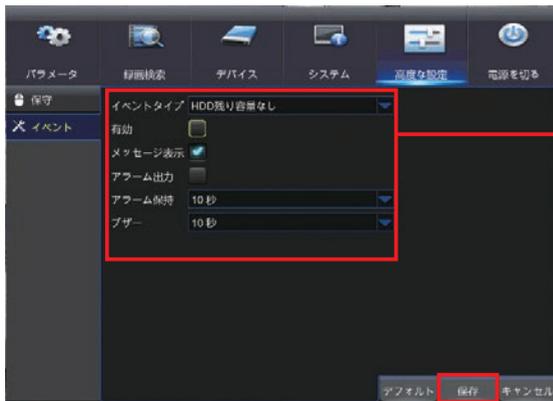
「設定インポート」「設定エクスポート」は設定情報を残しておきたい場合のほか、同型機を複数台同じ設定で利用したい場合などに便利です。

イベント

本機で異常が発生した際の機器の動作を設定できます。

設定画面はメインメニューを表示し、上部カテゴリから「高度な設定」をクリックし、左の一覧から「イベント」をクリックすると表示されます。

メニュー画面の操作方法は > 「メニュー画面の操作 (P.36)」 をご参照ください。



1. 必要な設定を行なってください。

2. クリックすると設定を保存します。

設定項目詳細

イベントタイプ (異常種類)

動作を設定するイベントの種類を選択できます。

「映像信号なし」を選択した場合、カメラ映像が途切れた場合の動作が設定されます。

有効

「イベントタイプ」で選択した動作の有効 / 無効を選択できます。

「映像信号なし」を選択した状態で「無効」にするとカメラ映像が途切れた場合に何も通知しなくなります。

メッセージ表示

「✓(チェック)」マークを付けると異常が起きた際、「イベントタイプ」で選択した異常を知らせるメッセージをライブ画面上に表示します。

.....

アラーム出力

「✓(チェック)」マークを付けると異常が起きた際、「イベントタイプ」で選択した異常が発生すると外部アラーム出力を行います。

.....

アラーム保持

外部アラーム出力時の保持時間を設定できます。

.....

ブザー

設定すると「イベントタイプ」で選択した異常が発生した際に本機に内蔵のブザーでお知らせします。ブザーの鳴動時間を設定できます。

ワンポイントアドバイス!

異常をいち早く検知するため、基本は「有効」に設定していただくことをおすすめいたします。

リモート接続について

リモートアクセスを利用するとインターネットやローカルネットワークを経由してアクセス元のパソコン上から本機の映像確認、設定変更などが行えます。

「リモート接続」を行うには本機のほかにブロードバンドルーター（以下ルーター）やインターネット環境等が必要になり、ルーターにはポート解放設定が必要となります。

本機をご利用の事業所等でネットワークの管理者が存在する場合、ネットワーク管理者にお問い合わせの上、管理者の指示通り設定を行ってください。

本書での表記

本書ではネットワークを通じ本機にアクセスすることを総称して「リモート接続」と表記します。

本機で利用可能なリモートアクセスには2種類ありそれぞれを、「ローカル接続」「グローバル接続」と表記します。

本機の他に必要なもの

- Windows PC ※推奨動作環境をご確認ください。
- 有線 LAN 接続のできるブロードバンドルーター
- LAN ケーブル (Cat5e 以上)
- WAN 側の固定 IP またはダイナミック DNS サービス ※グローバル接続時のみ
- 本機側、PC 側の両方にインターネット環境 (光回線推奨) ※グローバル接続時のみ

Windows PC 推奨動作環境 ※搭載 OS が快適に動作することが前提となります。

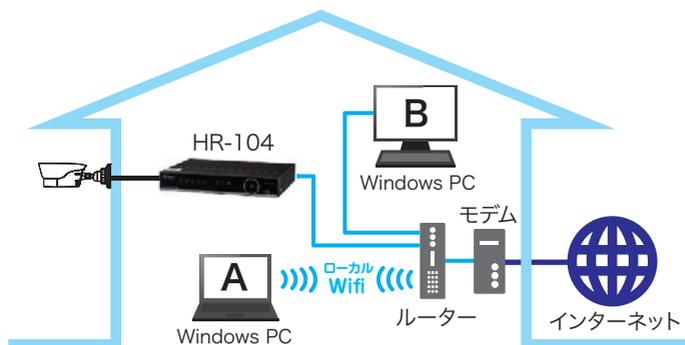
OS	Windows 7 / 8 / 8.1 / 10
CPU	4 コア以上のプロセッサ
メモリ (RAM)	8GB 以上
ストレージ (HDD/SSD)	20%以上の空き領域
ディスプレイ解像度	1920x1080 (他の解像度でもご利用いただけます)
ブラウザ	Internet Explorer 11 以降 (Edge では動作しません)

上記の推奨動作環境を満たしている場合でも **Mi cord ft** 社がサポートを終了した OS やブラウザをご利用の場合、弊社のサポートも対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。

ローカル接続 (インターネットに接続しない)

本機を設置した自宅や事業所内の PC(A や B) から本機にアクセスする方法です。

設定方法は 81 ページの「再生保存」をご参照ください。

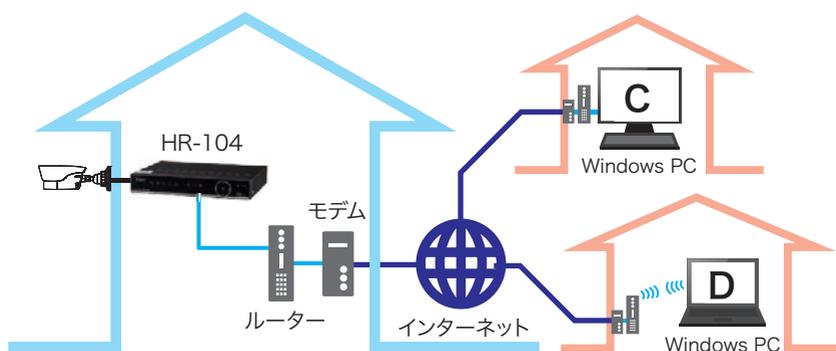


グローバル接続 (インターネットに接続する)

本機を設置した場所以外の PC(C や D) から本機にアクセスする方法です。

グローバル接続は「ローカル接続」が完了している状態でないと利用できません。

設定方法は 81 ページの「再生保存」をご参照ください。



グローバル接続を行う際はご利用のインターネット環境に加え「固定 IP」または「ダイナミック DNS(DDNS)」サービスのご利用が必要となります。上記サービスのご利用方法は、現在ご利用中のインターネットサービスプロバイダ (ISP) にお問合せください。

ローカル接続

ローカル接続を設定すると LAN 環境下にある Windows PC 全てから本機にアクセスして映像を見ることが可能になります。

ローカル接続の設定方法は複数存在しますが本項では最も簡単でベーシックな方法を記述します。

本項を設定の際は、本機の操作の他に Windows PC(以下パソコン)を利用してルーターの設定を確認・変更することが必要ですのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用意ください。

また、グローバル接続を行う場合でも最初に本項の設定をする必要があります。

設定手順

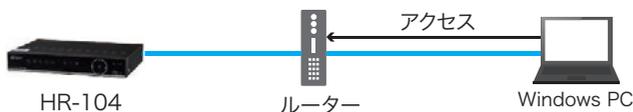


配線作業

1. 本機とルーターを LAN ケーブルで接続し、ルーターとパソコンが LAN 接続されている状態にします。



2. パソコンからルータにアクセスし IP 設定 (IP アドレス /Sub Net Mask/Gate Way) を確認をします。

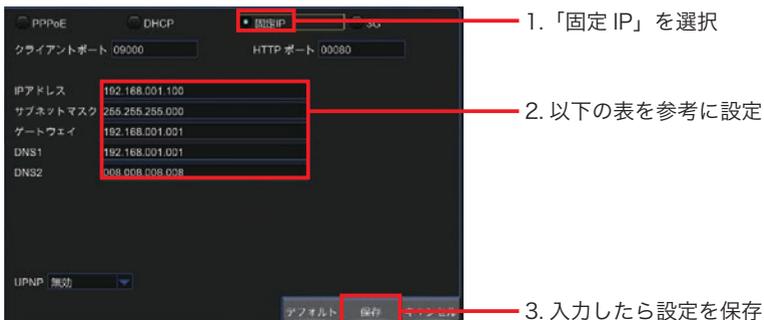


ワンポイントアドバイス!

ルーターへのアクセス方法がわからない方はご利用のルーターの取扱説明書をご参照ください。



3. 本機のメインメニュー設定より「ネットワーク (P.96)」画面を表示し以下のように IP アドレスの設定を行ってください。



IP アドレス	左から 9 桁はルーターと同じ数値を入力 最後の 3 桁を任意で設定
サブネットマスク	ルーターで設定している値を入力
ゲートウェイ	ルーターの IP アドレス
DNS1	ルーターの IP アドレス
DNS2	設定不要



4. パソコンで「Internet Explorer」を起動し、アドレスバーに本機で設定した「IP アドレス + ポート番号」を入力し、アクセスします。



IPアドレスの入力方法 http:// 本機のIPアドレス : ポート番号

例 IPアドレスが 192.168.001.100 の場合 ➡ http://192.168.1.100:80
 ポート番号が 80

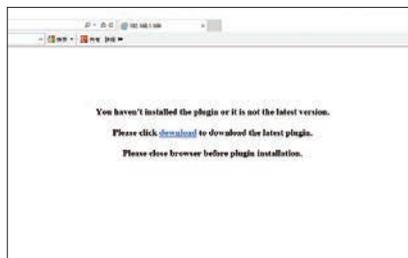
ワンポイントアドバイス!

ポート番号 80 の場合、ポート番号は入力しなくてもアクセス可能です。



5. 下記2つのうちどちらかの画面が表示されれば設定は完了です。

ご利用のパソコンで初めて接続した場合



プラグインソフトウェア Web_Plugin.exe のインストール

お使いのパソコンで初めてリモート接続を行なった場合プラグインソフトウェア「Web_Plugin.exe」のインストールが必要です。ソフトウェアはリモート接続画面の「download」表示をクリックしてダウンロードしてインストールすることができます。

ワンポイントアドバイス!

本機への接続 URL をお気に入り設定しておくことと以後の映像確認が簡単です。「Web_Plugin.exe」のインストール後はブラウザを再起動してください。

ネットワーク管理者の方へ

本機で使用するローカル IP アドレス、ポートは任意で設定可能です。ローカル接続時においても「ポート解放」が必要なルーターの場合は、ルーターの取扱説明書をご参照の上「ポート解放」を行ってください。ポート解放は本機で設定した「クライアントポート」「HTTP ポート」の両方を解放してください。ポート設定については 96 ページの「ネットワーク」をご参照ください。現在ご利用のネットワーク環境で DHCP を利用している場合、本機の IP アドレスは DHCP 割当範囲外に設定して頂くことをお勧めいたします。

ご利用のパソコンで以前にも接続したことがある場合



「リモートログイン (P.131)」 にお進みください

グローバル接続

グローバル接続は外部（遠隔地）のパソコンよりインターネットを通じ、本機の映像確認ができるようになります。

グローバル接続をご利用の際は、あらかじめ「ローカル接続」の設定を完了して頂く必要があります。

本項の設定は本機が設置されている LAN 環境のパソコンからルーターの設定を行う作業になりますのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用意ください。

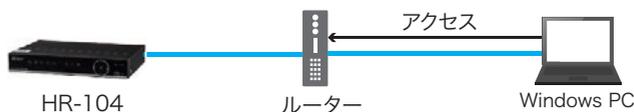
また、グローバル接続の際は「固定 IP(WAN 側)」または「ダイナミック DNS(DDNS)」サービスのご利用が必要となります。上記サービスのご利用方法は、現在ご利用中のインターネットサービスプロバイダ (ISP) にお問合せください。

設定手順

1.125 ページの「ローカル接続」をご参照の上「ローカル接続」完了させてください。



2. ローカル環境のパソコンからルーターにアクセスします。
※ルーターへのアクセス方法をご利用のルーターの取扱説明書をご覧ください。





3. ルーターへポート開放（アドレス変換）設定を行います。
 ポート解放は本機で設定した「クライアントポート」「HTTP ポート」の両方を解放してください。
 ※ポート開放の方法についてはご利用のルーターの取扱説明書をご覧ください。

アドレス変換は以下表を参考に設定してください

変換対象				変換後宛先	
プロトコル	WAN側 アドレス	ポート番号		本機のIPアドレス	本機のIPアドレス
TCP	※1 固定IP または DDNSアドレス	本機のHTTPポート (初期設定：80)	↔	↔	本機のIPアドレス
		本機のクライアントポート (初期設定：9000)			本機のIPアドレス

※1 ルーターによっては設定しなくてもご利用いただけます。

ワンポイントアドバイス!

ポート番号の確認や設定については 96 ページの「ネットワーク」をご参照ください。

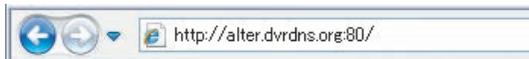


4. ポート開放完了後に本機に対してグローバル接続状態にあるパソコンから「Internet Explorer」を起動し、アドレスバーに「固定 IP + ポート番号」または「DDNS アドレス + ポート番号」を入力して接続します。

固定IP+ポート番号8000の場合



ダイナミックDNS+ポート番号80の場合





5. 下記2つのうちどちらかの画面が表示されれば設定は完了です。

ご利用のパソコンで初めて接続した場合



プラグインソフトウェア Web_Plugin.exe のインストール

お使いのパソコンで初めてリモート接続を行なった場合プラグインソフトウェア「Web_Plugin.exe」のインストールが必要です。ソフトウェアはリモート接続画面の「download」表示をクリックしてダウンロードしてインストールすることができます。

ワンポイントアドバイス!

本機への接続 URL をお気に入りに設定しておくことと後の映像確認が簡単です。「Web_Plugin.exe」のインストール後はブラウザを再起動してください。

ネットワーク管理者の方へ

ポート解放は本機で設定した「クライアントポート」「HTTP ポート」の両方を解放してください。ポート設定については 96 ページの「ネットワーク」をご参照ください。グローバル接続を行う際は「固定 IP(WAN 側)」または「DDNS」サービスのご利用が必要となります。上記サービスのご利用方法は、現在ご利用中のインターネットサービスプロバイダ (ISP) にお問い合わせください。

ご利用のパソコンで以前にも接続したことがある場合



「リモートログイン (P.131)」 にお進みください

リモートログイン

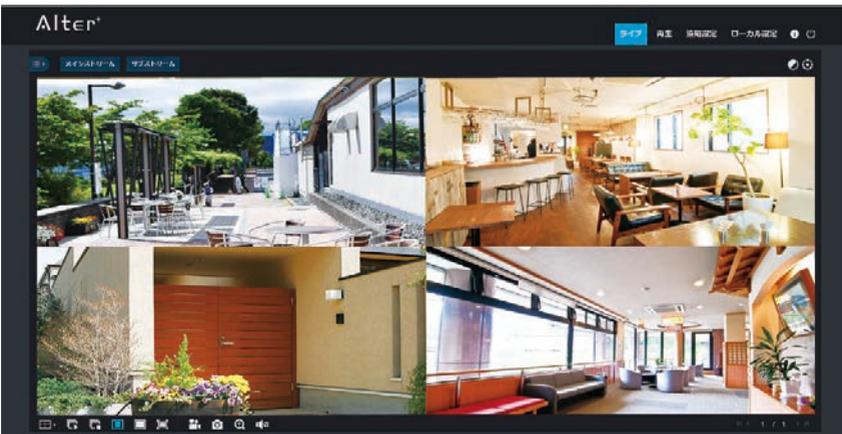
リモート接続を行うと「リモートログイン」画面が表示されます。
ログインするとリモート接続画面が表示されます。

ログイン手順

1. 言語 (Language) を日本語に選択し、「ユーザー名」「パスワード」「クライアントポート」「ビットレート」を選択し「ログイン」ボタンをクリックします。



2. リモート接続画面が表示されます。



リモート接続画面

リモート接続画面では、「ライブ映像」「記録データの再生」「設定変更」が行えます。

リモートライブ画面



リモート再生画面

The screenshot shows the Alter+ remote playback interface. It features a top navigation bar with 'ライブ' (Live), '録画履歴' (Recording History), and 'ローカル録画' (Local Recording). The main area displays a grid of video thumbnails. A left sidebar shows a calendar and playback controls. A bottom control bar includes playback controls and a search function. A timeline at the bottom of the video player shows recording data with colored segments.

ログアウト
画面切替え
表示画面を切替えます。

時間帯表示 (ジャンプ再生)
録画データがある部分は色で表示されます。
録画データがある部分をクリックすると
クリックした時間帯を再生します。

再生ツールバー
再生、一時停止などの操作が行えます。
※一部使用できない項目もあります。

再生検索
録画データの検索が行えます。

画面表示切替え

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

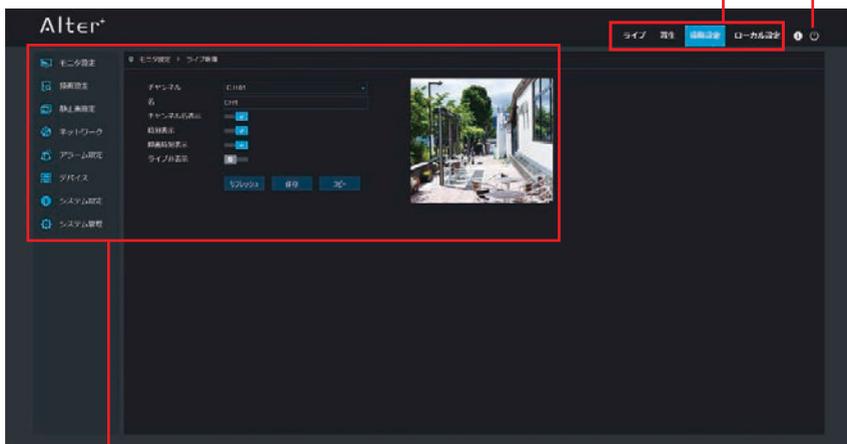
Q & A

遠隔設定画面

ログアウト

画面切替え

表示画面を切替えます。



メニューリスト

本機のメインメニューと同じ内容が表示されます。
設定を変更すると本機の設定が更新されます。
各項目の詳細は本書の各項をご参照ください。

はじめに

設置

基本操作

記録

再生

バックアップ

設定

リモート

仕様

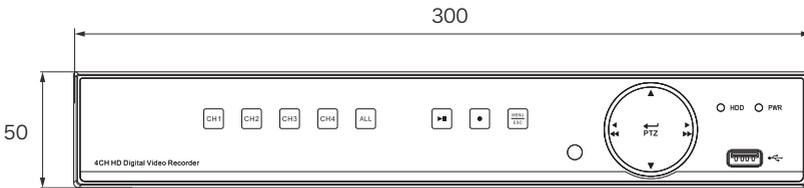
Q & A

製品仕様

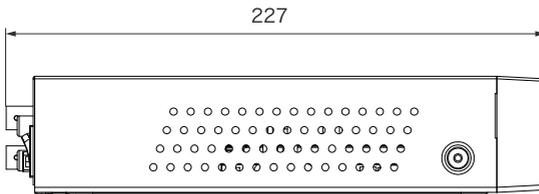
型式		HR-104
システム	OS	組込み版Linux
	マルチプレクス	Pentaplex(ライブ/録画/再生/ネットワーク/バックアップ)
	メニュー表示言語	日本語 他18ヶ国語を搭載
	HDD	2TB
バックアップデバイス		USBデバイス 最大64GB
映像表示	表示方式	NTSC/PAL
	映像入力	4CH BNC-J
	映像出力端子	VGA/HDMI
	映像出力サイズ	HDMI: 1024×768/1280×1024/1440×900/1280×720/1920×1080 VGA: 1024×768/1280×1024/1440×900/1280×720/1920×1080
プレビュー解像度	プレビュー解像度	各チャンネル最大1920×1080Pixel
	カメラ画質調整	各チャンネルごとに255段階調整(色相/輝度/コントラスト/彩度)
	シーケンス	1~300秒で設定可能(1→2→3→4)
	画面表示	4分割/各チャンネル表示(IPカメラ接続時は最大8分割)
	音声	入力
出力		1CH出力(RCA)
録画	圧縮方式	H.264
	解像度	960×480、1280×720、1920×1080
	画質設定	ビットレートにて10段階で設定
	フレームレート	1~30/fps
	録画方法	常時/モーション/手動/センサトリガー
	スケジュール設定	1週間分を30分単位で設定可能
	プリアラーム録画	2~10秒(オート)
再生	上書き録画	ON/OFF設定可能
	検索方法	日時指定/イベント
	操作	再生/早送り/巻き戻し/一時停止/ズーム
動作検出	早送り速度	4段階(x2/x4/x8/x16)
	検出エリア	各チャンネル30×44マスでマスク設定が可能
アラーム	感度設定	8段階
	入力	4CH(NOまたはNC)
ログデータ	出力	1CH
	ブザー	内蔵ブザー
	検出トリガー	映像信号なし/HDDエラー/HDD残り容量なし/動作検出/センサー入力
	アラーム時間	10/20/40/60(秒)
ネットワーク	対応ブラウザ	Internet Explorer 7.0以降
	リモート操作	ライブ/再生/バックアップ/パラメーター設定
	接続端子	RS485
PTZコントロール	対応プロトコル	Pelco P/Pelco D
ユーザー管理		ログイン権限管理・パスワード保護
外形寸法		W300×D227×H53mm
質量		約1655g
電源		DC12V/最大2A
動作温度範囲		-10°C~+55°C
月々の電気代		約450円

外形寸法図

正面



側面



単位：mm

トラブルシューティング

症状	確認事項 / 対策	参考ページ
電源が入らない	本機の電源は入っていますか？	16・20
	電源ランプが点灯しているか確認してください	30
モニターへ本機の映像が表示されない	モニターとの配線が正しいか確認してください。	15
	映像出力解像度がお使いのモニターに対応しているか確認してください。	92
カメラの映像が表示されない	カメラと本機の配線が正しいか確認してください	14
	カメラの電源が入っているか確認してください	-
カメラの映像が出たり消えたりする	本機の映像入力端子とカメラケーブル、カメラ本体とカメラケーブルに接触不良がないか確認してください。	-
HDD ランプが赤点滅	正常に録画中であることを示しています。	30
起動時に「ピーツ」と音がる	起動時の正常動作です。	-
マウスカーソルが表示されない	本機の起動前にマウスを接続するとマウスが認識されません。起動後に接続しなおしてください。	-
録画されていない	録画スケジュールが正しく設定されているか確認の上、再度設定を行なってください。	38～51
	メインメニューより「録画情報」を表示し録画状態が「有効」になっているか確認してください。「無効」表示の場合録画されていませんので録画設定を再度行なってください。	118・38～51
	メインメニューより「デバイス」を表示しHDDの状態が「OK」になっているか確認してください。「OK」以外の表示の場合当社サポートセンターまでお問い合わせください。	-

症状	確認事項 / 対策	参考ページ
音が出ない	モニターとの配線が正しいか確認してください。VGA 接続の場合、別途音声配線が必要です。	15
	音声マイク (カメラ) と本機の配線が正しいか確認してください	14
音声が録音されない	メインメニューの「メインストリーム」「サブストリーム」で「音声」にチェックがついているか確認して下さい。ついていない場合チェックをつけてください。	44・47
録画映像が汚い	ビットレートを高く設定してください。	44・ 50～51
再生できない	本書の手順通りに再度行なってみてください。	60
バックアップできない	本機でフォーマットを行い USB メモリが正しく認識しているかご確認の上、再度バック操作を行なってみてください。	80
上書きされたデータを復活させたい	上書きされたデータ復元することはできません。	-
ローカル接続できない	本書の手順通りに再度設定を行なってみてください。	124
ローカル接続できるがグローバル接続ができない	ポート開放設定、WAN 側の IP アドレスまたは DDNS アドレスが正しいか確認してみてください。	-
「ディスクなし」「HDD エラー」「ディスクエラー」と画面上に表示される	HDD 故障の可能性があります。当社サポートセンターまでお問い合わせください。	-

Alter⁺
オルタプラス

株式会社 キャロットシステムズ
(オルタプラスサポートセンター)

〒 252-0231
神奈川県相模原市中央区相模原 4-7-10 エス・プラザビル 1F
TEL 042-775-2266 FAX 042-750-0005
修理品等をご送付される際は、上記の住所までご送付ください。